

『日本一鑑』の名彙

木村 晟

一、はじめに

鄭舜功の編纂にかかる明代末期の『日本一鑑』（嘉靖四十三年・永祿七年1592以降）は質量両面で特に勝れた日本研究書であり、また結果的には日本に関する本格的な百科全書となっている。本書の中には日本語彙が「窮河話海」巻一に四八八語、巻二に一一五九語、巻三に三四九語、巻四に七七二語、計二八六八語、それぞれ名彙として単語・熟語を意義分類して収録されている。また別に巻五の「寄語」の項に単字語三四〇四語に和訓を附してイロハ順に排列した辞書の形態を有する部分が存する。この中の後者（巻五「寄語」については、私は偶々総索引を編纂したことがあるので、その序に「寄語」の主たる典拠となったと目される『平他字類抄』と、さらに『平他字類抄』と併用しつつ引用したと思われるところの『下学集』『節用集』との語彙の対照を試みた。^(注3)その結果は約七〇%を

占める二三五九語が『平他字類抄』の語彙と共通し、残りの一〇四五語中の五四二語が『下学集』または『節用集』のいずれかと一致関係を示したのであった。これら三種の辞書とは対応しない残りの五〇三語については今後『倭名抄』『色葉字類抄』を始めとする古辞書の類を逐一的に調査し報告したい所存である。

ところで、本書の「寄語」の語彙を『下学集』のそれと比較してみると、彼の「元和三年板本」よりも写本の類の「春林本」や「東京教育大学本」「文明十七年本」などの方が幾分「寄語」との一致度が高いのである。この傾向は福島邦道先生が本書の名彙の部分、例えば巻三の「薬餌」と『下学集』の「飲食門」とを比較せられた結果とも相通する面がある。^(注4)ところが、『節用集』との関係となると、福島先生が名彙の部分（例えば巻一「時令」の月の異名の項など）の「印度本節用集」と近似関係を示されたようには「寄語」の部分では行かないように思う。少なくとも私の今までの狭い調査では印度本とのみの特別に密接な関係は認められなかった。^(注5)これは若

しかしたら私の調査の不十分さのためであるかもしれない。しかしまた本書の編者鄭舜功が「寄語」編輯に際して、名彙の部分とは別系統の『節用集』を参照したものと考えられる。^(注6) 前の調査では便宜上、索引の附されている影印本^(注7)（「伊京集」・「明応五年本」・「天正十八年本」・「饅頭屋本」・「黒本本」・「易林本」）を使用したのが、今後は比較する『節用集』の範囲を拡大して再調査いたしたいと考えている。

一方、本書の「寄語」の語彙がどういう系統の『下学集』や『節用集』を典拠としているかを追究するためには、その一つの手懸りを得るために、名彙の部分と『下学集』『節用集』とを対比させてみることも重要なことであろう。これについては既に福島先生の本格的・実証的な研究^(注8)があるので、それ以上に調査することはないかも知れない。しかしながら先生のご研究は論文という形態を採っておられるために、極めて用例主義を採っておられるものの、当然のことながら全例についての記述はなされていない。私は私の立場からしてやはり網羅的な対照表が欲しく思われたので、敢えて本稿を作成した次第である。

紙幅の都合で今回はまず本文に整理番号を附して翻刻し、第二回めからはこの整理番号に基づいて、『下学集』や『節用集』など古辞書類の本文を対照させたいと考えている。また見出し語の漢字索引をも作成し本書「名彙」の語彙の検索の便も図りたいと考えるものである。

(注1) 笠間索引叢刊41『日本一鑑本文と索引』（昭和49年9月、大友

信一先生と共編 笠間書院)

(注2) 福島邦道先生は「寄語」と『平他字類抄』との関係を指摘され、平声・他声の別による三排列になっていること言及された。その論文の名は「日本一鑑所引の古辞書」（『本邦辞書史論叢』所収昭和42年2月、三省堂）。『日本一鑑』を語彙論的乃至辞書史的観点から本格的な考察を加えたものとしては先生の論文が嚆矢。実に独創的にして実証的である。

(注3) 木村晟「日本一鑑『寄語』の語彙」（『駒沢国文』第十号昭和48年6月）および「日本一鑑『寄語』所引の下学集・節用集」（『駒沢大学文学部研究紀要』第三十二号昭和49年3月）

(注4) 福島先生の（注2）の論文参照。

(注5)（注6）（注3）の『駒沢大学文学部研究紀要』所載の対照表

参照。

(注7) 中田祝夫博士編『古本節用集六種研究並びに総合索引』（昭和43年4月、風間書房）

(注8) 福島先生の（注2）の論文。

一、日本一鑑「名彙篇」の本文

『日本一鑑』の「窮河話海」巻一〜四に名彙として存する単語・熟語に整理番号を附して翻刻する。底本は「文殿閣影印本」に拠る。収録語彙数および目次は次の通りである。

目次

卷一時令	ノ. 1〜12	41語
(月の異名)	24語、年中行事	17語

国君

47語

卷四		卷三											卷二			
(書籍)	書籍	(称呼)	仏法	鬼神	(薬餌)	薬餌	飲食	綵色	礼楽	器用	鳥獸	草木	珍宝	人物	室宇	職員
No. 1753	No. 1753	No. 1618	No. 1618	No. 1573	No. 1533	No. 1452	No. 1412	No. 1400	No. 864	No. 716	No. 355	No. 330	No. 307	No. 141	No. 60	
1795	1821	1664	1748	1617	1551	1572	1451	1411	1399	863	715	354	329	306	140	
43語	43語	47語	47語	19語	19語	19語	19語	19語	19語	19語	19語	19語	19語	19語	19語	19語
夷書	夷書	名僧	名僧	疾病	疾病	疾病	疾病	疾病	疾病	疾病	疾病	疾病	疾病	疾病	疾病	疾病
No. 1796	No. 1796	No. 1665	No. 1665	No. 1552	No. 1552	No. 1552	No. 1552	No. 1552	No. 1552	No. 1552	No. 1552	No. 1552	No. 1552	No. 1552	No. 1552	No. 1552
1825	1825	1752	1752	1572	1572	1572	1572	1572	1572	1572	1572	1572	1572	1572	1572	1572
30語	30語	75語	75語	21語	21語	21語	21語	21語	21語	21語	21語	21語	21語	21語	21語	21語
73語	73語	131語	131語	45語	45語	45語	45語	45語	45語	45語	45語	45語	45語	45語	45語	45語

称呼
No. 1826
2008

179語

事説
No. 2009
2530

522語

(注) 各門の収録語彙数の数え方は原則的に福島邦道先生「日本一鑑所引の古辞書」(『本邦辞書史論叢』所収昭和42年2月、三省堂)に従った。他に渡辺三男先生の数えられたものもある。「明末の日本紹介書『日本一鑑』について」(『駒沢大学研究紀要』第十三号昭和30年3月)参照。福島先生の示された語彙数と渡辺先生の数えられた数値とに若干の差異があるのは語の認定が多少違うためである。

日本一鑑 窮河話海

『卷一』

時 令

- 1 正月①肇歲一云②睦月一云③昵月俗謂新春親類相依娛樂故名之月朔國人齊沐祈祝天地先向其都方位拜祝其王次父母兄弟夫婦長幼禮畢往來親友之家是日俗尚嬉戲各逞技能盡醉而歸賀正之禮其有行至十一日十五日二十日正月初子日俗人祝松祝云男七女二七云云七日禁中白馬會俗人登高望遠謂得陰陽靜氣以除煩惱十四日禁中男踏歌皆發祝頌之詞望日清晨俗白米小荳爲粥致祭地祇國郡所村童子成群手持一物謂羽子板及刺杖遍入人家搜求不育之婦見即撻之童謡曰汝快生兒十六日禁中女踏歌凡月晦謂提月
- 2 二月①如月一云②衣更着月俗以此月餘寒猶嚴故云衣更着也望日弔亡者二八月時云彼岸
- 3 三月①病月一云②彌生月言諸草木至此俱生故名三日作草餅祭祖先桃花泛酒以爲樂
- 4 四月①卯月是月也卯木盛華故名僧家開浴謂之淋汗八日僧俗之人祭賀釋迦生辰
- 5 五月①皐月五日酒泛菖蒲競馬擬競渡致祭三閭楚大夫小兒輩作艾虎故事祭賀茂神俗云賀茂祭
- 6 六月①且月一云②皆熱月月朔以冰進王分賜群臣按彼之冰例藏越前一乘溪預備以供此節云月望夷王致祭天地神祇粧扮人物故事鳥獸之戲是月晦云越被俗以夏盡秋交金火相尅故名
- 7 七月①文月一云②親月俗省親墓故名是月俗餉父母謂之生見玉月望孟蘭盆會夜則燒燈於門外比屋皆然謂導亡人受祭
- 8 八月云①彼岸一云②壯月一云③葉月以木葉落故名朔云憑又云白露白露節值八月也月望國都則祭八幡神謂之放生會大和則祭大明神伊勢則祭天照神皆夷先代國王也國人謂之三社日是日豐後揚師至飾金革遊於郊原之間
- 9 九月①玄月一云②長月月陰象俗以夜長故名九日採菊獻觀音
- 10 十月①神無月俗以神集出雲云惟出雲謂之②神有月是月也擇日修祭諸神亥日食餅謂豕餅祈禳無病
- 11 十一月①暢月一云②霜月是月也國之東南始隕霜卜日祀竈
- 12 十二月①趨月一云②師趨俗以諸人事煩不暫居家雖師匠亦趨走也故名十三日致賀禮月望祀祖先月晦作麻糍僧俗互送往來辭年門戶懸稻稷插葦房祈稻之熟祈子之多其王宮室侍臣乃以桃弓葦箭驅讎云凡閏月俗事同

國君

13 仁德天皇 此自稱者又鳴鶴帝應神天皇御子女御宮太后宮仲姬會

14 仁賢天皇 舒明天皇御子母后

15 天智天皇 履中天皇御子顯宗天皇同母御帝

16 聖武天皇 文武天皇御子

17 平城天皇 稱奈良帝桓武天皇御子母后内大臣良繼諸子

18 陽成法皇 稱延喜帝寧多法皇諸子母后

19 光孝天皇 深草天皇諸子母后紀伊字贈大政大臣滋緒女

20 寧多法皇 主院小松天皇諸子母后式部卿親王仲聖諸子

21 醍醐天皇 稱白河院下照宣公御子

22 朱雀院 醍醐天皇諸子母后堀川關白殿下照宣公御子

23 村上天皇 稱延喜帝寧多法皇諸子母后

24 冷泉院 村上天皇諸子二號母后九條大臣師輔諸子

25 貧融院 冷泉院諸子母后接政謙德公諸子

26 花山院 冷泉院諸子二號母后同關白諸子

27 一條院 貧融院諸子母后同諸子

28 三條院 冷泉院諸子二號母后同關白諸子

29 後朱雀院 一條院諸子母后上東門院女

30 後冷泉院 後朱雀院諸子母后御堂關白殿下道長諸女

31 小一條院 後朱雀院諸子母后三條院諸子母后左大將軍濟映女

32 後三條院 後朱雀院諸子母后陽明門院女

33 白川院 白川院諸子母后六條古石大達顯房子

34 堀川院 白川院諸子母后六條古石大達顯房子

35 崇徳院 白川院諸子母后六條古石大達顯房子

36 聖徳太子 上宮太子用明天皇諸子

37 有間王子 孝經天皇諸子母后左大臣阿爾倉橋諸子

38 高岳親王 號十六如親王平城天皇之子

39 雲林院親王 常康深草天皇諸子

40 小野宮親王 惟高文法天皇諸子

41 閑院四品親王 員元清和天皇弟

42 兵部卿親王 元良陽成院諸子

43 前中納言親王 惟忠光孝天皇諸子

44 式部卿親王 敦度寧福院之子

45 一品式部入道親王 敦實同院諸子

46 上總太守四品親王 行明延喜帝子

47 同太守四品親王 盛明同帝第十五子

48 前初書王 兼明同帝之子

49 後中書王 具平天歷帝諸子

50 彈正尹親王 清仁冷泉院諸子武花山院諸子云

51 延久三宮 輔仁後三條院諸子

52 紫金臺一品入道親王 鳥羽院諸子移居仁王寺

53 仁和寺二品法王 守覺後白川院諸子已上夷王凡廿三代中附夷君之子云

54 國王良懷 洪武時也

55 源道義 永樂時也

56 源義持 永樂宣德初也

57 源義植 正德嘉靖初也

58 源義晴 嘉靖戊申來貞也

59 源知仁 嘉靖乙卯嗣立也

職員

60 神祇官 ① 伯 ② 大副 ③ 權大副 ④ 少副 ⑤ 權少副

⑥ 大祐 ⑦ 權大祐 ⑧ 少祐 ⑨ 權少祐 ⑩ 太史 ⑪ 權太史 ⑫ 少史 ⑬ 權少史 ⑭ 祭主

61 大政官 ① 攝政 ② 關白 ③ 大政大臣 ④ 左大臣 ⑤ 右大臣 ⑥ 内大臣 ⑦ 大納言 ⑧ 中納言 ⑨ 少納言 ⑩ 參議 ⑪ 左大辯 ⑫ 右大辯 ⑬ 左中辯 ⑭ 右中辯 ⑮ 左少辯 ⑯ 右少辯 ⑰ 大外記 ⑱ 少外記 ⑲ 左太史 ⑳ 右太史

① 左少史 ② 右少史

62 中務省 ① 卿 ② 大輔 ③ 少輔 ④ 侍從 ⑤ 内舍人

63 内記局 ① 太内記 ② 少内記

64 監物局 ① 大監物

65 中宮官 ① 大夫 ② 權大夫 ③ 亮 ④ 權亮 ⑤ 大進

⑥ 權大進 ⑦ 少進 ⑧ 權少進

66 大舍人寮 ① 頭 ② 助 ③ 權助

67 圖書寮 ① 頭 ② 助

68 内藏寮 ① 頭 ② 權頭 ③ 助 ④ 權助

69 縫殿寮 ① 頭 ② 助 ③ 權助

70 陰陽寮 ① 頭 ② 助 ③ 權助 ④ 陰陽博士 ⑤ 權陰陽博士

⑥ 漏刻博士 ⑦ 權歷博士 ⑧ 天文博士 ⑨ 權天文博士

⑩ 漏刻博士 ⑪ 權漏刻博士

71 内近寮 ① 頭 ② 助

72 式部省 ① 卿 ② 大輔 ③ 權大輔 ④ 少輔 ⑤ 權少輔

⑥ 大丞 ⑦ 少丞

73 大學寮 ① 頭 ② 助 ③ 文章博士 ④ 明經博士 ⑤ 助教

博士 ⑥ 直講博士 ⑦ 明法博士 ⑧ 算博士 ⑨ 音博士

⑩ 書博士

74 治部省 ① 卿 ② 大輔 ③ 權大輔 ④ 少輔 ⑤ 權少輔

75 雅樂寮 ① 頭 ② 助

76 玄蕃寮 ① 頭 ② 助

77 諸陵寮 ① 頭 ② 助

78 民部省 ① 卿 ② 大輔 ③ 權大輔 ④ 少輔 ⑤ 權少輔

79 主計寮 ① 頭 ② 助 ③ 權助

80 王稅寮 ① 頭 ② 助

81 兵部省 ① 卿 ② 大輔 ③ 權大輔 ④ 少輔 ⑤ 權少輔

82 隼人司 ① 正 ② 佐 ③ 權佐

83 刑部省 ① 卿 ② 大輔 ③ 權大輔 ④ 少輔 ⑤ 權少輔

⑥ 大判事 ⑦ 少判事

84 司獄司 ① 正

85 大藏省 ① 卿 ② 大輔 ③ 權大輔 ④ 少輔 ⑤ 權少輔

86 織部司 ① 正 ② 佐 ③ 權佐

87 宮内省 ① 卿 ② 大輔 ③ 權大輔 ④ 少輔 ⑤ 權少輔

88 大膳職 ① 大夫 ② 權大夫

89 木工寮 ① 頭 ② 權頭 ③ 助 ④ 權助 ⑤ 大工 ⑥ 權大工

工 ⑦ 小工 ⑧ 權小工

90 大炊寮 ① 頭 ② 助 ③ 權助

91 主殿寮 ① 頭 ② 助 ③ 權助

92 典藥寮 ① 頭 ② 助 ③ 權助 ④ 醫師 ⑤ 醫博士 ⑥ 權

醫博士 ⑦ 鍼博士 ⑧ 權鍼博士 ⑨ 侍醫 ⑩ 權侍醫

⑪ 女醫博士 ⑫ 權女醫博士

93 掃部寮 ① 頭 ② 助 ③ 權助

94 宗人省 ① 正親正 ② 佐 ③ 權佐

95 内膳司 ① 別當 ② 正奉膳 ③ 典膳

96 造酒司 ① 正 ② 佐 ③ 權佐

97 采女司 ① 正 ② 佑 ③ 權佑官俱男 ④ 典侍女官也

98 主水司 ① 正

99 彈正臺 ① 尹 ② 大弼忠 ③ 少弼忠

100 左京職 ① 大夫 ② 權大夫 ③ 亮 ④ 權亮

101 右京職 ① 大夫 ② 權大夫 ③ 亮 ④ 權亮

102 東市司 ① 正 ② 佐 ③ 權佐

103 西市司 ① 正 ② 佐 ③ 權佐

104 東宮 ① 傅 ② 學士

105 春宮坊 ① 大夫 ② 權大夫 ③ 亮 ④ 權亮 ⑤ 大大進(ママ)

⑥ 權大進 ⑦ 少進 ⑧ 權少進

106 主膳署 ① 奉署膳

107 主殿 ① 灑掃

108 主馬 ① 掌馬

109 主工監 ① 修造

110 齊宮寮 ① 伊勢神宮官 ② 賀茂女院官 ③ 賀茂秋院官

111 修理職 ① 大夫 ② 權大夫 ③ 亮 ④ 權亮

112 勘解由 ① 長官 ② 次官 ③ 判官 ④ 主典

113 鑄錢司 ① 鑄錢官

114 兵庫寮 ① 頭 ② 助 ③ 權助

115 諸國官 ① 國守 ② 權守 ③ 大介 ④ 權大介 ⑤ 大丞
⑥ 權大丞 ⑦ 少丞 ⑧ 權少丞 ⑨ 大目 ⑩ 權大目

⑪ 少目 ⑫ 權少目

116 鎮西太宰府 ① 帥 ② 權帥 ③ 大貳 ④ 權大貳 ⑤ 少貳

⑥ 權少貳 ⑦ 太監 ⑧ 權太監

117 西海道府 ① 醫陰兩道大唐通事官

118 左近衛府 ① 大將 ② 中將 ③ 少將 ④ 將監 ⑤ 將曹

119 右近衛府 ① 大將 ② 中將 ③ 少將 ④ 將監 ⑤ 將曹

120 左衛門府 ① 督 ② 佐 ③ 權佐 ④ 大尉 ⑤ 少尉 ⑥ 大

志 ⑦ 少志

121 右衛門府 ① 督 ② 佐 ③ 權佐 ④ 大尉 ⑤ 少尉 ⑥ 大

志 ⑦ 少志

122 左兵衛府 ① 督 ② 佐 ③ 權佐 ④ 尉

123 右兵衛府 ① 督 ② 佐 ③ 權佐 ④ 尉

124 左馬寮 ① 頭 ② 權頭 ③ 助 ④ 權助

125 右馬寮 ① 頭 ② 權頭 ③ 助 ④ 權助

126 征夷使 ① 大將軍

127 鎮守府 ① 鎮東將軍 ② 將監

128 施藥院 ① 使

129 倉穀院 ① 別當

130 檢非使 ① 廷尉

131 大理 ① 別當 ② 左佐 ③ 右佐 ④ 左太尉 ⑤ 右太尉

⑥ 左少尉 ⑦ 右少尉

132 勸學院 ① 別當

- 133 學館院 ① 別當
- 134 獎學院 ① 別當
- 135 淳和院 ① 別當
- 136 內教坊 ① 別當
- 137 大歌舞頭 ① 別當
- 138 殿上 ① 別當
- 139 藏人頭 ① 五位藏人 ② 六位藏人 ③ 非藏人
- 140 記錄頭 ① 文殿 ② 執柄家

〔卷一〕

室 宇

- 141 殿
- 142 宮
- 143 舍
- 144 壺
- 145 戶
- 146 樓
- 147 院
- 148 坊
- 149 門
- 150 寺
- 151 館
- 152 店
- 153 屋
- 154 庵
- 155 室
- 156 房
- 157 軒
- 158 臺
- 159 所
- 160 竈
- 161 局
- 162 閨
- 163 庇
- 164 廂
- 165 窗
- 166 牖
- 167 亭
- 168 扉
- 169 屏
- 170 牆
- 171 塀
- 172 廐
- 173 棚
- 174 闔戶限
- 175 桁
- 176 蔀覆暖障
光物
- 177 樞
- 178 礎
- 179 礫
- 180 棟
- 181 膏
- 182 杗梁
- 183 櫺
- 184 侍
- 185 扃
- 186 榧
- 187 柷
- 188 閣
- 189 杙
- 190 萱
- 191 覆
- 192 組
- 193 釘
- 194 瓦
- 195 絡
- 196 梃
- 197 櫛
- 198 杙
- 199 稽
- 200 穰
- 201 垣
- 202 臺所
- 203 塔頭
- 204 寢殿
- 205 贊殿
- 206 渡殿
- 207 釣殿
- 208 鼎所

- 209 蓐俱
- 210 裏板
- 211 棟榑
- 212 方立
- 213 棧木
- 214 虹梁
- 215 宇立
- 216 日隱
- 217 柱屋
- 218 鼠走
- 219 懸魚
- 220 枝戶
- 221 妻戶
- 222 鰭板
- 223 腸戶
- 224 引木
- 225 織戶
- 226 肱木
- 227 板敷椽
- 228 部屋
- 229 立柱
- 230 礎居
- 231 上棟
- 232 長對
- 233 軒端
- 234 破風
- 235 足代
- 236 檜皮
- 237 搏風曹屋板
- 238 押搏
- 239 扶持
- 240 對屋
- 241 階隱
- 242 眠藏卧房
- 243 棧敷棧房
- 244 廊架
- 245 透垣
- 246 雜地庫
- 247 簀子
- 248 筑地(マ)
- 249 風呂湯殿
- 250 後架小便所
- 251 僧司廁
- 252 車宿
- 253 叉庫
- 254 總門
- 255 背戶後園
- 256 見世
- 257 天井
- 258 鴨柄
- 259 唐居
- 260 長押
- 261 飛簷
- 262 叉木椽
- 263 木舞栢
- 264 榻子
- 265 連子
- 266 狹間
- 267 帳臺
- 268 遣戶
- 269 束柱短柱
- 270 高欄檻
- 271 柂木
- 272 決入
- 273 襲立
- 274 檜曾
- 275 足堅
- 276 直木
- 277 甬木
- 278 扱首
- 279 斬立
- 280 精銳
- 281 厨子
- 282 杷瓦
- 283 築垣
- 284 射堞一云的
山梁也
- 285 緩入
- 286 客爐
- 287 瑋端
- 288 錐木
- 289 廊廡
- 290 蝸室
- 291 前栽
- 292 木構一云木戶
即城柵
- 293 冠襲竹
- 294 相障子
- 295 小格子
- 296 料木舞
- 297 足堅木
- 298 門冠木
- 299 飯間蓋一云二階架
盛飯所也
- 300 梁宇立
- 301 持佛堂
- 302 圍爐裏
- 303 四阿屋
- 304 塗籠籠
- 305 垣生小屋土民所
居
- 306 赤土小屋賤者所
居

人物

307 聖德太子

夷王用明第一子前生支那之南岳號稱惠思禪師因達摩指南出生日本號聖德太子有六異名因生廐戶故曰廐戶太子用明愛之

居南宮上殿故曰上宮太子八人奏事一時八聽故曰八耳太子又曰豐聰太子又云耳聰睿明仁恕故曰睿明太子誅夷守屋而建佛法洪基又宋史云聖德太子年三歲

聞十人語時同解之七歲佛法於菩提寺講聖經天雨曼陀羅華國書作法一十七條行於國號稱救世觀音

308 鎌足大臣 夷王天智

時人其先天兒屋根命之裔家於和泉高市郡或云常陸人乃誅入鹿大臣者其為多武之草創

309 淡海公 即不比等也鎌足之子亦母海

人故曰淡海公為大和與福之草創

310 入鹿大臣 夷王天智時人蝦蟇之子

311 杼本人丸

天智天武之時稱大寶比人

312 役行者 或曰役小角賀茂人姓役公氏年少才餘去家入葛城山住持孔雀王呪采五色雲優游仙府

驅逐鬼神以使其俗今云山臥者役行者之末流也

313 山邊赤人 聖武博時神龜比人

314 吉備大臣

夷王元正之時遣使入唐欲讀野馬臺文詞義難曉蜘蛛引絲而教之蜘蛛者泊瀨觀音冥助也吉備大臣有唐詠和歌

315 大政大臣

名道鏡稱道鏡法師丹州弓削里人後入洛號弓削法王乃夷女王孝謙之夫國書云馬陰過量可笑

316 融大臣 夷王嵯峨之子居十二

樓又云十二樓始受其王賜姓源氏

317 輕大臣 國書本人奉使入唐文那之人飲以不言之藥身作彩漆頭戴燈臺而燃火即名燈臺鬼其子

弼宰相往而尋父時燈臺鬼流淚噬指以血書云我元日本花京客汝是一家同姓人為子為爺前世契隔山海戀情辛經年垂淚蓬蒿宿逐日馳思蘭菊親形被化鄉作

燈鬼爭歸田里寄此身

318 小野篁 夷王嵯峨時人官至參議峯守子息破軍化身輒常往還於冥途

319 小野道風

小野篁之子世尤好書

320 淨藏貴所 家山城乃諫議大夫善清第八子延喜時人四歲讀千字文聞一知二十二歲出家為天台慈學弟

子中齡草創雲居寺落墮後行力不衰祈鴨河而逆流祈八坂塔而不傾或祈隣屋桃實餉諸子奇異甚多不遑枚舉

321 定家 歌者後鳥羽院時人

322 金岡

畫工一條院時人姓巨勢官至大納言琢磨法眼弟子

323 定朝

朝一作明乃佛工後一條院時人位至法橋上人工

人納位自定朝始

324 運慶 佛工後鳥羽院時人

325 湛慶 佛工運慶弟子

326 安阿彌

佛工運慶弟子

327 鬼神大夫 姓平康乃刀工稱紀新大夫作刀時鬼神助鎚故名

328 膝長慶 其先武臣子孫

今為山城刺史公道服衆夷國咸敬之

329 長野三郎 夷中學子見書必讀世稱奧才人其學校間稱為文學之首

珍寶

330 金 出陸奧

331 銀 出陸奧但馬見石等處

332 鉛 出於金銀礦中俗稱倭鉛

333 銅 出山城石見俗稱倭銅

334 鐵 出豐後越中越備中陸奧者佳可為刀不可作銃蓋鏢鐵也

335 青玉 土產東方

336 白珠 間出鮑中又大村津珠出蠅蝗中

337 水晶 出近江有青白紅三種

338 琥珀 地多古松

故有此物

339 瑪瑙 出大和

340 玻璃 出本國東北之地

341 缸 出石見

342 丹土 地多有之

343 硫黃 出硫黃筑紫等島大小琉球各產之

344 金剛沙 出河內可磨玉

345 白砂 種島大隅千湊博多伯耆陸奧皆有之

346 碁子 出豐後海曲中白者螺屬黑者石也

347 王

斥墳而難陶故居鮮瓦蓋尾張之士頗可陶常為飲器也

348 青礫石 出山城

349 紫石 出近江長門可為硯

350 金章 夷言神璽又國書云本朝三種神器其三種者二為漢魏之賜一為永樂之賜皆藏於日本國王之宮房猶言后宮也

351 銀章 漢魏所給朝使者者今藏於夷臣石上家石上者即石野守也

352 勘合 洪武永樂兩給賜凡入貢必以勘合為憑夷中

列國請求奉使必內銅錢一千貫價值白金四千兩其一餘關節費餘萬金乃給勘合遣使入朝

353 華文 中國文字夷世寶藏之如南金拱壁藏愈

久而價愈高

354 銅錢 宋史銅錢乾文大寶元史遣商持金來易銅錢國書私錢可能鑄已久惟用中國古錢每錢一文價銀四釐向者福建龍溪地

方私自鑄錢市之私鑄市之彼中彼重中國之錢不計龍溪之偽

草木

355 松 凡二鍼鐵鏡 猶如天目松 356 別牙松 凡三 357 五葉松 凡五鍼李 唐時新羅

曾進於中國 其名五粒松 358 羅漢松 其名植又名伊吹木武林有種名寸金新安有種名 雀樞日本之種葉長過寸金葉瘦過雀樞温州謂木

羅廣西謂 359 牡丹 其名風姑一名取 草又名二十日草 360 蘭 其名原 野短草 361 醪西藥

其名山吹又錯 認為欵冬花 362 水仙 其名雪中花 花開疊瓣 363 芙蓉 其名仙翁花本花初 生仙翁寺故名之

364 牽牛花 其名 朝顏 365 槿 亦名 朝顏 366 蓼 其名 水龍 367 蒿苳 其名莖 立苳

368 天竺 其名南 天竺 369 槩 宋熙寧間僧誠 曾進木槩子 370 石榴 其花疊瓣者花中 含藥復開花

371 梅 其名鶯仙一名鶯宿梅花此生於後鳥羽院時後鳥羽者夷王先後之號也於 時京洛四條院即林光院址之間有寡婦園植梅一株紅白相交每春鶯宿於 上後鳥羽聞欲遷植之婦作倭歌答夷王歌 畧云勅最賢鶯宿問如何夷王感歌罷遷之

372 桑 越中多 植之 373 大茴香 其名 檉 374 桔梗 其有青白二 種花開重瓣 375 柿 其名大鼻一名木 練又名木淡也 376 八仙花

377 温州 其謂橘原自 入朝移種者 378 福州 未詳何物原自 福州移種者 379 漢竹 原自漢時 移去者 380 躑躅 羊食花 則斃 381 醉馬木 馬食葉 則斃 382 扶桑 一本花二色大紅粉紅 者有一朵花二色者 383 核桃 胡桃 實小 384 楓 葉細 可觀

385 菓 其名 椎 386 鳳尾蕉 其名蘇鐵廣東之南雅江西之南安浙江之温州 等處多有之彼葉紬密夷云多產琉球島嶼中

387 芭蕉 其有紅花 花大於萱 388 漆實 可為油作 燭豎燒 389 山檀 廣東之種有 檀白者名玉樓春 粉紅者名錦樓春

390 梔子 其名無口一名蛇滴花潮之大埔縣古廟曾見之 按山檀梔子皆與廣東相同故漢書云地與朱崖

儋耳相近疑似 地之所宜也 391 菠菱 多產海濱沙地 392 甘蔗 近有 393 蘆葍

圍凡八九寸長約 二三尺此不堪食 394 黃精 其名 小薑 395 花椒 其名山椒 山野自生 396 蔓菁

其名 大根 397 赤荳 其粒 頗肥 398 西瓜 近有之向青 門東門之說 399 冬瓜 其名 鴨瓜

400 匏 其名瓢 一名臛瓢 401 海藻 其名神馬草國書國母之號神官者 攻異域時舟中乏芻取以抹馬故名

402 海苔 其名青 海苔 403 裙片 其名昆布長大過裙 且多產陸奧邊海 404 海蒿苳 長三 四尺

色黑本脆多產 松浦之海底 405 瑞香 種多 白花 406 菱 其名 角草 407 竹本 竹葉本身 種別有名

408 纏枝蓮 藤屬相類葳蕤仙夏開白花圍大不六寸花如疊 瓣蓮多產日向種有別名浙之松陽人家有此花 409 卯木 初夏 甚花

此木 未詳 410 白膠木 國書聖德太子以 此木刻四天王 411 白膠小荳 夷王文安時自天雨 此葉類白膠故名

412 柎 其實黑夷王崇 德時自天雨此 413 羊附來 昔航海者市羊毛種 從毛中附來故名 414 齒朶 正月 用之

415 楮 五月 用之 416 梔 俗七月七日採葉題詩歌 以獻二星又以楸謂之梔 417 杉 非杉乃杉杉 極極其名梔

418 檉 419 神 420 檉 自檉梔梔神檉 考之玉篇無此字 421 不木 一名雞 冠木

422 龍腦 423 興渠 424 葱 425 咎葱 426 鳩酸草

427 鼠尾草 428 露草 429 荔 430 昆若 431 零餘子

432 續隨子 433 狼牙 434 辛胡麻 435 旨苕 436 茶

437 葢 438 芹 439 土筆 440 薜菜 441 援

442 芍藥 443 芝 444 蓮 445 百合 446 山葵

447 蜀葵 448 龍葵 449 菖蒲 450 杜若 451 石麥

452 萱 453 刈萱 454 茅萱 455 蒲桃 456 女郎

- 562 楮 557 杣檫 552 栗 547 楊 542 棗 537 桃 532 榲 527 苦竹 522 茄子 517 蠶豆 512 菘荳 507 晚稻 502 蕨 497 牛膝 492 羌活 487 艾 482 枸杞 477 藜 472 葎 467 菅莎 462 澤蒜 457 紫苑
 563 榲實小 558 糯檫 553 杣栗 548 柳 543 柚 538 杏 533 楠 528 虎杖 523 蔦蘿 518 刀荳 513 青荳 508 杣稻 503 大麥 498 白芥子 493 獨活 488 蓬 483 香附 478 蒴藿 473 茜 468 萍 463 韭 458 荻
 564 柏 559 銀杏 554 糯粟 549 檉 544 橙 539 梨 534 棟 529 李 524 葛 519 扁荳 514 白荳 509 粳稻 504 小麥 499 野苧 494 蕘荷 489 蒿 484 茯苓 479 芡苳 474 藍 469 芡 464 薤 459 荻
 565 槻 560 木樨 555 杣黍 550 茅 545 金柑 540 槐 535 枇杷 530 檀 525 鳳尾竹 520 角荳 515 黑荳 510 糯稻 505 蕎麥 500 芹 495 生薑 490 茭 485 茴香 480 蘘 475 苑蔚 470 藺 465 茨菰 460 蓴
 566 合歡木 561 烏臼木 556 糯黍 551 榛 546 蜜柑 541 梓 536 海棠 531 梧桐 526 瀟湘竹 521 大角荳 516 黃荳 511 稗 506 早稻 501 薇 496 澤瀉 491 薯蓣 486 荊芥 481 烏頭 476 通草 471 砥草 466 薏苳 461 蒜
 671 劇草 666 長春 661 羊蹄草 656 射干 651 蕞 646 檉 641 檉 636 秋鈴香 631 海蘆藤 626 半夏 621 芡 616 羊棗 612 王瓜 607 芋 602 馬蘭 597 雞冠花 592 茉莉 587 檉 582 椿 577 欒 572 楸 567 楊盧木
 672 和禮香 667 忍冬 662 酸梅草 657 蘘 652 蕭 647 寄生 642 杜 637 虎刺 632 葳蕤仙 627 南星 622 茯神 617 山查 613 苦瓜 608 山苦遮 603 牛旁 598 蘘 593 紅夾竹桃 588 樟 583 茶 578 樗 573 朴 568 檉
 673 寶含木 668 懷春 663 榆 658 薔薇 653 防風 648 楮 643 檉 638 兼 633 吳茱萸 628 人參 623 薄荷 618 羊桃 614 櫻桃 609 紫蘇 604 芫荽 599 苧 594 菊 589 冬青木 584 海桐 579 榎 574 厚朴 569 辛荳
 674 坦衣 669 王孫 664 椴 659 龍膽 654 貝母 649 楚 644 榎 639 篠粟 634 茱萸 629 天門冬 624 商陸 619 甜株 615 楊梅實小有紅白紫三色 610 苦苣 605 油菜 600 蕘 595 蘋 590 山茶花 585 柘 580 西海子 575 檉 570 櫻櫚
 675 女貞 670 龍葵 665 椴 660 三稜草 655 麻黃 650 蘆葦 645 五茄 640 石檀 635 金銀花 630 麥門冬 625 川芎 620 林檎 611 絲瓜 606 茨菰 601 木棉 596 苻 591 金鳳 586 榕 581 皂角 576 椴 571 石南花

676 床子 677 頹子 678 胡子 679 水慈 680 搗栗
 681 擴麥 682 藤 683 菘耳 684 苛荳 685 箭葵
 686 雞冠菜 687 期菜 688 甘苔 689 神仙菜 690 鹽苔
 691 水苔 692 海羅 693 海松 694 蕒菊 695 採
 696 椶 697 火衷木 698 榜 699 榻 700 令勤
 701 荳葵 702 茵 703 蕚 704 蒨綠 705 白杓
 706 和布 707 心太 708 檣布 709 海髮 710 海雲
 711 陟苔 712 布苔 713 石蕚 714 小蓼布 715 多羅木
 716 雞 木棉付 717 杜鵑 時鳥 718 鷗 都鳥 719 鶉 誤名
 720 鷺 嘯次鳥 721 猿 喚子 722 蜻蜓 洲秋津 723 鼬 鼠狼
 724 蝦 海老 725 鷓鴣 溝三歲 726 鳩 子生於浮巢 727 安持村
 鳥籍村名 未審種族 728 秋沙 河鳥未審種族 729 狐 野干 730 鰓 海亂鬼皮可為刀鞘
 731 蜘蛛 蓀蟹 732 蜈蚣 百足 733 翡翠 碧玉一名 734 鷺
 雪客 735 鮑 即石 厥螟 736 鮫 皮可為刀鞘 737 蛭 多 土產極 738 牛
 生產島野用索圍絆取 739 馬 生島野間按倭之島古名野馬臺疑多產馬故名之俗之取馬以索圍絆歸而破鞅其山多石
 以耕載拽車老則縱之 740 魛虎 魛化身長能食人畜 741 海鬼 大隅部曲之種島間有山澗流接諸海夷
 馬難於蹄其俗 載重故馬易衰 742 海魁魘
 命門有凹凹水盈則多力凹水竭則力綿或登走山原是夷可獲
 臨水浴或不見形衆打撈之已被鬼啖腹腸矣詢其鬼長不三尺

844 海蟠 845 鱸 846 鰈 847 蚌 848 蛤
 839 蛭 840 辛螺 841 鮓 842 鯢 843 烏賊
 834 鯨 835 鮪 836 鯽 837 鮪 838 鯧
 829 鯰 830 鮒 831 鯉 832 鯖 833 鯰
 824 鯛 825 鮓 826 鮒 827 鯉 828 鮓
 819 鹿 820 兔 821 山豕 822 鯨 823 蛙
 814 熊 815 麋 816 麋 817 鹿 818 麋
 809 鵠 810 鵠 811 鳩 812 烏 小者 813 鵠
 804 螳螂 805 鵠 806 鴛鴦 807 鸞 808 隼
 799 螻 800 騶 801 螻 802 螟蛉 803 螢
 794 潛龍 795 蝓 796 蠅 797 蚕 798 虱
 789 蛇 790 蝗 791 螻蛄 792 蝴蝶 793 蟬
 784 蟹 越中養 785 蜂 786 蟻 787 蠓 788 蛙
 779 川山甲 780 促織 781 蠹 782 蛭 783 蝨
 774 鼈 775 鼈 776 蛟 777 龍 778 阿金螺
 769 石蟹 770 蜆 771 海馬 772 海狗 773 海蝶
 764 土豹 765 蝙蝠 766 蜥蜴 767 蚯蚓 768 蟹
 759 犬 760 野猪 761 猫 762 鼠 763 栗鼠
 754 羆羊 755 獺 756 豺 757 狸 758 狗
 749 鴻 750 鷹 751 雉 752 水雞 753 燕
 744 鶴 745 鶴 746 鷹 747 鵠 748 鳧
 水中妖孽禍淫婦女未聞形容故俗
 女兒輒以玄丹抹額鵠不取犯
 743 海竹 介屬圓徑寸餘長五六寸殼褪黑衣白肉可食

- 895 鉛 出於金銀礦中
- 896 汞 水銀也其為流金燒硃升粉之用宋元豐時曾貢此物本土不產入朝市去及他國市去者
- 891 銅 出山城
- 892 赤銅
- 893 鐵 出豐後越中備中陸奧者佳
- 894 缸 出石見
- 889 金 出陸奧及有閩浮檀金之稱
- 890 銀 出陸奧但馬石見及有南嶺之稱
- 888 墨 出大和東大寺燒煤為之漆墨退光宋端拱間進松烟墨
- 887 筆 出山城管小奈書海山羊毛而作宋
- 886 硯 石出近江長門及有鄴瓦陶泓馬蹄龍淵陳淵之稱
- 885 打曇
- 884 薄樣
- 883 衫原 出產紙處故名也
- 882 疊紙 女人假粧之用
- 881 修善紙寺 一云薄紅紙出伊豆
- 877 輕黃紙 佳紙也出幡摩
- 876 宿紙 一云紙屋紙薄而黑公家所用紙出甲斐
- 879 色紙
- 880 檀紙
- 878 雙紙
- 877 輕黃紙
- 875 懷紙
- 874 反坂 古紙
- 873 鳥子紙 色如鳥卵故云
- 872 禮紙
- 871 表紙
- 869 歷度牒
- 868 世譜 夷王世紀
- 867 文夾系圖 夷王族譜
- 866 勘合
- 865 銀章 自漢魏給賜朝使者詳珍寶
- 864 神器 金章漢魏永樂三給賜詳珍寶
- 863 醉魚 人食則醉
- 862 海龜
- 861 鰩 形類縮長不滿尺雙翼越尾凡寸餘西海屋久等島海洋之中多有之
- 859 鰩 淡水
- 858 鮫
- 857 鱈
- 856 鯪
- 855 蜆
- 854 鱒
- 853 鮫
- 852 鯪
- 851 鮫
- 849 牡蠣

器用

- 963 桔梗皿
- 962 鏡磁 茶碗之類按彼用者磁皆由入朝市去者
- 961 瓦器 本土難陶故少此物
- 960 合子
- 959 引入
- 958 御器
- 957 皿
- 956 豆子
- 955 楪
- 954 椀 漆木而作用紙灰布或漆硃紅或黑退光
- 953 外居 或云行器
- 952 柳苜
- 951 籠筍
- 948 葛籠
- 949 破籠
- 947 懸子
- 946 唐櫃 而乘
- 945 襪靴
- 944 食籠
- 943 印籠
- 942 茶提
- 941 筴 削曰梓木以為之兩頭尖
- 940 火筴
- 939 香匙
- 938 富士籠 或作臥籠
- 937 香合
- 936 燭臺 已上四者列國多鑄河內頗佳
- 935 龜鶴
- 934 爐 金鴨睡鴨
- 933 古銅花瓶 俗名軍持
- 932 衝立障子
- 931 屏風
- 930 頰皮 出陸奧
- 929 馬背瓊 已上五者本土不產入朝市去
- 928 曹茵 毯瓊也
- 927 虎皮
- 926 豹皮
- 925 玳瑁
- 924 椰子杯
- 923 菱花臺
- 922 瓦杯
- 921 馬上盞
- 920 烏盞
- 919 建盞
- 918 金絲香合 則一土坯一飲而棄
- 917 堆紅
- 916 堆朱
- 915 儀仗 陳御夷王之用器
- 914 圭璋 國王用之
- 913 剔紅
- 912 剔金
- 911 錢 昔者自鑄今用
- 910 水晶 出近江
- 909 琥珀 本土不產
- 908 珊瑚 本土不產
- 907 瑪瑙 出大和
- 906 碓磑
- 905 琉璃 出本國東
- 904 玻璃 出本國東
- 903 紫石 出近長江門可為硯
- 902 青礬石 出山城
- 901 磁石
- 899 玉
- 898 珠 魏晉時貢詳珍寶
- 897 鐵 錫也一名白鐵本土不產

- 1032 毬 其色淡黃 奈燒少淚
- 1033 毬杖 正月用之
- 1034 羽子板 正月小兒用之
- 1035 篋 散子國書夷王
- 1025 火燧 出硫黃筑 紫等島
- 1026 硫黃 出硫黃筑 紫等島
- 1027 燈心 漆實取 油而作
- 1028 蠟燭 漆實取 油而作
- 1031 爆竹 漆實取 油而作
- 1020 燈籠
- 1021 行燈
- 1022 挑燈
- 1023 短檠
- 1024 續臺
- 1015 炭斗
- 1016 漉水囊
- 1017 椀盃
- 1018 釣瓶
- 1019 搔器
- 1010 茶器 一云十切茶器
- 1011 頭切 一云十切茶器
- 1012 藥研
- 1013 焙爐
- 1014 風爐
- 1005 茶巾
- 1006 茶酌
- 1007 茶桶
- 1008 插茶
- 1009 茶壺
- 1004 茶笏 石為之 出山城
- 1002 茶篩 陶出尾張其色黑彼 無美陶故此價高
- 1003 茶椀 陶出尾張其色黑彼 無美陶故此價高
- 1004 茶笏 石為之 出山城
- 997 罐子
- 998 藥刀
- 999 藥罐
- 1000 湯瓶
- 1001 茶磨 碓青
- 992 飯銅
- 993 鐵輪 鼎倭作 多鑄河內頗佳
- 994 甌
- 995 摺糊
- 996 盃 倭指 搗盆
- 1055 冠磯 冠殼 也
- 1056 巾子 國書曰冠 入髻處也
- 1057 角簪 冠
- 1058 纓 冠後 垂巾
- 988 釜
- 989 鼎 鼎倭作 多鑄河內頗佳
- 990 煎盆
- 991 絃鍋
- 984 鈔子
- 985 菜桶
- 986 涌桶 國書文 章可笑
- 987 鍋 廣東之鍋西番商 人有市往彼者
- 980 杵
- 976 杵 樽盛同倭 常言杵
- 977 斗 大如中國 三斗斛
- 981 瓶子
- 982 提子
- 983 壺 錫磁者皆由入朝市 去餘多提桶以代之
- 979 升 一升三 十合
- 980 杵
- 969 托盆 猶木 素也
- 970 方盆 陳此 代几
- 971 再進鉢
- 972 末那板
- 964 折敷
- 965 追膳公卿
- 966 衝重
- 967 緣高
- 968 菓子盆

- 1084 柄鈴 一柄紵鈴二十四 優且乃持而搖之
- 1085 寶鐸 塔婆 之具
- 1086 九輪 塔婆 最末
- 1080 華鯨 鐘也列國多 鑄河內頗佳
- 1081 鐘樓
- 1082 鰐口 神前 鉦也
- 1083 風鈴
- 1075 土拍子
- 1076 磬
- 1077 鏡
- 1078 鈇
- 1079 鈇
- 1071 羯鼓 胡樂
- 1072 柶 擊鼓 杖
- 1073 大鼓 僧寺 有之
- 1074 征鼓
- 1067 笙
- 1068 篳篥 一名悲策 本胡樂也
- 1069 笛
- 1070 簫 尺八 也
- 1062 九章 永樂時 賜其王
- 1063 幅巾 唐時 有之
- 1064 啄木 物緒也以絲組為之 其色斑斑如鳥啄木
- 1065 琴 有五絃焦尾焦桐之稱其琴等 樂常陳紫宸清涼白虎內教房
- 1066 琵琶 倭云琵琶 撥聲
- 1059 烏帽子 烏帽子之 縛緒也
- 1060 調度懸 烏帽子之 縛緒也
- 1061 線紬 土作綿紬 入朝市去
- 1052 篋 按彼用篋皆由 入朝市去者
- 1053 簪 按彼用簪削木 鉗錫以成之
- 1054 釵 髻鬢 具
- 1048 鐮子 拔毛
- 1049 鉗
- 1050 砥
- 1051 梳 櫛也古竹今木大如中國 之小梳端拱間奉貢有此
- 1045 五明扇 國書云舜帝製造五明扇 倭扇像形俗呼旋風扇
- 1046 團扇
- 1047 城殿扇
- 1043 笏 俗謂 手板
- 1044 扇 倭初無扇因見蝙蝠之形始作扇稱蝙蝠宋端拱間曾 進此按其作扇有淡青素箋水墨黃牛者佳
- 1040 泥鐔 壁塗 具
- 1041 砧
- 1042 尺 鷹秤猛惡鳥生在巢子長食父畏之遷 居去巢一尺之枝而養子故呼尺為鷹秤
- 1036 闡 拈此分 物也
- 1037 脇息 靠身 几
- 1038 榻 謂入座俗 謂車具
- 1039 脚踏

一條院與臣打雙陸按急呼四三心念目觀雙五轉躍成四三故朱之俗謂朱三朱四也比倭引唐之故事故云漢和皆有之和指倭也

1087 龕 人座小室即
1088 棺 俗云斂
1089 位牌 神主
1090 廚子

1091 佛舍 子龕
1092 幢幡 或書天照皇大神春日大明神八幡(幡)之內多用之海船之上祈禱之海賊寇皆奉之昔
1093 華鬘
1094 天盖笠

1095 傘
1096 蓑 俗名
1097 油單 雨具
1098 木履
1099 屣

1100 藁鞋
1101 草履
1102 鼻高 高又作
1103 烏

1104 杖
1105 鳩杖
1106 卯杖 夷王文德實錄云仁壽二年正

1107 棒柺 俗呼擔
1108 觸杖 器具

1109 觸桶 同上
1110 楊木 梵網經疏去齒木
1111 鋤
1112 鋏
1113 犁

1114 鎌
1115 斧 考略有
1116 斤
1117 鉞
1118 鐮 廣刃
1119 斨 或作乎斧
1120 鉞
1121 鑿
1122 鋸
1123 大鋸
1124 錐

1125 笞刺 小刀笞箭受絃處
1126 鐵鎚
1127 釘
1128 鉸 又云

1129 鑊
1130 鎖
1131 鑰
1132 鐵鍊 入朝市去者
1133 櫛

1134 杙
1135 杙
1136 亂杙
1137 逆茂木
1138 梯
1139 兵革

1140 熊手
1141 鎗 鐵有長短鋒有刀劍之象木竿皮鞘價亦高貴
1142 矛
1143 盾

1144 旌旗 戰場用之或以旌旗遺使隨事而書主者押字
1145 緄 謂胞衣注云母衣謂子在胎內衣胞防毒武士臨敵戴此以防毒傷也

1146 鎧 鍾也甲也甲出山城大和豐後周防毛利等處胎或以皮胎多以鐵漆黑退光聯以彩絲身體手足皆有所蔽名之其足不入金刃為貴

1147 札 鐵鎧也
1148 冑 兜鍪也俗以冑為甲而冑出上野漆鐵懸纓纓喜紅謂火威冑物最拙者

1149 腹當 甲也
1150 腹卷 甲也
1151 筒丸 俗以身喻竹筒
1152 胸板

1153 總角
1154 腋楯 昔夷王妻號神宮敵異國時妊懷體大體冊不及腋即以楯隱之故俗武人例以為腋楯

1155 草摺
1156 籠手
1157 鈇 臂鎧也
1158 腹帶
1159 鉢卷
1160 劔

1161 草薙劔 昔者夷王天照弟名素盞烏被配出雲時持十握劔斬大蛇尾尾中有劔落得之初蛇尾劔時常有雲氣故稱素盞烏天材雲劔時素盞烏以劔納於伊勢神宮巫神云昔所遺者其後十二代夷王景行稱日本武尊時東夷叛東夷謂陸奧東島之夷也景行用巫請卜於天照賜劔征之行至駿河浮島原島夷野燒拒之景行拔劔一揮四方一里草木刈薙其火自滅自此改名草薙劔自後景行化成白鳥飛去劔遺尾張熱田神社今此神劔其為三種之一歟

1162 鐔 鐔也刀
1163 鞘 刀房也
1164 鑊 倭多用此字乃飾刀房之物也

1165 刀 按倭作刀鋼鬆鐵脆故刀多利若製不精則多闕而鮮有鈍者故刀以利用為寶利刀者蓋以年久殺人無算刀鋒如初而不染血者傳之愈遠價重百千萬金如佩是刀航海者或遇颶風不已即以是刀為不祥價雖萬億即棄之海誓取海不揚波矣彼之俗人凡諸出入必佩長短二刀雖夜寐亦必置之於左右俗之造作利刀者千煉萬錘以成之固知刀利又以不殺為寶如寶佩是刀至老不殺人則必置酒以命僚友親戚遺書押字傳之於子僚友親戚亦各具酒以慶之謂刀不殺而寶傳焉之子若孫亦復如是則刀之寶增重矣其佩刀者出入從革若或酌酒而爭露刃而侮其遭侮者多不與鬥言諸司牧則殺酌酒之人俗入佛教則不佩刀俗人剃頭佩刀亦卸以有菩提心也惟頭陀有佩刀者夷俗下人罪犯死者出斬之際而俗多人乃以新刃爭粉其身蓋示利鈍其輕生也如此凡生男女皆以刀為賀禮貧寒之家禮不能治以木為刀而贈之男兒五六歲以木為刀與佩之聞使習技雖女兒有習此技者男兒漸長每出入則佩刀若入本君頭目之家必先卸刀而後入刀有大刀長刀中刀短刀按中刀長鞘者此蓋美觀便技也短者若中國之七銘也刀兵之屬柄內有彼年號及治工之名可辯古今利鈍也刀有神者古之平乘號行平紀新大夫作刀之時鬼神助鎚故云鬼神刀也山城刀利又庫刀者彼當魏晉以來日本諸王取彼通國刀工專於兵庫鍊鐵極精成名庫刀面銘八番大善

(八番)

薩春日大明神等號此刀有傳於今者價亦貴重相模美濃刀次於山城備前之刀亦次之刀之面有鑿誓不動動明王摩利支尊天等佛號彼蓋以神刀誓不易殺其有蟠龍血漕者不過美觀而已刀面凡有血漕者雖非上等刀亦不甚鈍周防寄刀有三焉一名斷錐力可斷錐鐵者一名鷓鴣刀昔人有驅鷓鴣入海捕魚鷓鴣啣得故名之一名斷豆刀昔有貧人佩刀初不知其從何來適彼富人於途貧者佩刀負豆而行袋微綻裂遺落之豆皆腰斷於時富人疑乎貧者佩刀異常乃詐語之願結兄弟換刀表記富人得刀付工治之治刀時以鋒向腹腹腸斷從穀道出再付他工以鋒向外而砥之刀乃從草豐後之刀出於富賀田刀次於山城豐後權守名鑑續有一古刀長三尺許價值古錢七十萬計該白金二千八百兩其餘兵刀不及敘

1167 剃頭刀 出山城其市必雙價錢三百文
1168 弓 竹木膠漆以成之弓樣且長弦惟絲竹
1166 裁紙刀 出長門兼常者佳
1169 揚弓

1173 弩 物之大者以彰木城之間駕必五六人一發三矢中矢頗長
1174 鎗矢 獨以竹為之加以翎鏃利且貴多有竹木為鏃者
1170 重藤 重或作滋
1171 弦弭 弓末
1172 鷹股

1180 箬 1181 尻籠 1182 的鞍 1183 金伏輪 伏或作覆
1184 鏡 1185 總 1186 鞦 1187 泥障 1188 轡 1189 鞭 策筆同

1175 蓐目 蓐或作引
1176 征矢
1177 矢頭
1178 弩矢
1179 空穗

1190 手綱 1191 差繩 1192 輿 1193 綱代 捕魚處又輿車所言也

1194 手輿 1195 涼轎 禪家所乘按彼轎如中國北方之製中可坐卧前後馬駝之

1198 篲 1199 輛 具也
1200 車 大車雙輪山城關東等處多以牛駕之小車單輪南

1202 轅 轉同
1203 舟 船舫艇船同按其為舟甚工合縫最密釘必轉脚不用油麻灰脰一檔而短易於眠豎旁多駕檣無風用之去舟如

無檣榔檣榔葉者固罕有或即大腹皮用此不知何取義
1201 轄 木三寸

鳥西鳥皆有之前引而後奉也檣榔車檣榔葉以巾車也彼

飛貢船永樂之世貢船二艘宣德之世貢船三艘永以為例故有三號船頭船有大小之別漁舫而小哨艇檣多商舶不欲甚大以被海腹內多石蓋欲便於發駕也彼舟也有龍首鸞首浮家浮宅之稱

1204 帆 草作
1205 纜 藤作
1206 櫓

1207 械 機也又扭械罪人之具
1208 楫 即舵也彼云棍又有棍木
1209 筏 梓同
1210 槎

博望乘之以窮河
1211 篷
1212 網
1213 網
1214 輓轆

1215 都僧 僧名玄賓住備中之湯川寺始作秋田驚鳥之物一云水器又謂搗米器故俗以物名僧都倭歌云山田守僧都身哀秋終問人無

1216 引板 鳴木類驚鳥物也
1217 飛磔
1218 簾 箔同
1219 翠簾 俗謂御簾

1220 煖簾 垂席也
1221 疊 或云显席
1222 高麗緣
1223 半疊緣

1224 刺席 席與筵同席者裏以草薦表以蘭席緣以文皮或以花布遍鋪屋下席地坐卧不設几案床帳其惟方盆碁局文几而已

1225 棚襖 障子
1226 卓 案几同几最低小名小文几左右關闌如案狀惟誦經修書者用之
1227 座牌 名簡也

1228 翰墨 筆墨
1229 短籍 籍或作尺
1230 反古 舊文
1231 畫

表補繪繪補繪輪補繪後素繪也琴碁畫福祿壽畫觀音畫達摩畫馬畫牛畫鷹鷹畫朝陽對月畫俗愛古畫惟小斗方其畫幃屏亦有大小也若畫扇水墨黃牛頭佳

1232 碁 局高不滿尺方廣尺許用經為之碁子黑者石也產於澳濱之陽白者螺屬彼中海面多有之
1233 碁筒 盛子器也

1234 引合 好者鸚鵡斑已上四香俱非本產
1235 龍涎香
1236 薰陸香
1237 藿香
1238 速香

1239 漆
1240 膠
1241 穉
1242 漿粉

1243 御衣木 造佛材也
1244 獨鈞
1245 三鈞
1246 五鈞
1247 杵

1248 鈴 真言禪律御子等具也
1249 火舍 香爐
1250 檝 真言壇上四隅小桂
1251 闕伽桶

1292 履 草履半於足掌皮席之履如足掌齊按洪武以來賜夷使人履襪

1293 脛巾 一云足繫束織席為之遊獵

請遣使入朝乃得冠裳以歸是守敬用之僧頂匾摺帽裝頂端公帽喜昆羅帽小縞紗帽俗謂如牛角而不喜頂也俗有頭巾俗人山臥所頂也

義冠服通事冠帶至今稱之其親王冠賦色純黑樣如中國食麪餛飩國守臣民則一束髮冠皆竹為之罩以黑漆節屈用之正德之世周防國守姓多多良名義隆得一束髮冠皆竹為之罩以黑漆節屈用之正德之世周防國守姓多多良名義隆得

1288 硝 土產所無近則竊市於中國遠則與販於暹羅

1289 藥材 市物入朝市去

1290 書籍 儒佛之書

初出佛郎機國之商人始教種島之夷所作也次則棒津平戶豐後和泉等處通作之其鐵既脆不可作多市暹羅鐵作也而福建鐵向私市彼以作此

1284 粉 或云紅粉又云胭脂

1285 輕粉 水銀昇之出伊勢

1286 硃 水銀燒之

1287 手銃

1281 馬齒 農器

1282 續松炬 松明也山間燒此以照夜

1283 胭脂 紅花紫礦和研金箔以成之出山城

1277 滴器 盛硯水物

1278 黏

1279 鈎

1280 秤 一觔二百五十目二百五十者二十五兩也

1274 礮 近來有之

1275 漆器 出於山城物其精緻寧波蘇州所為

1276 鈞 漁器

1271 鏡 魏時始賜向出山城多以白金混銅為之其故印文光瑩也

1272 金箔

1273 銀箔 俱出山城其箔頗厚

1268 螺 其為用兵之號今其來寇皆有之

1269 鑼 近來市之於中國今俗鳴之以集眾

1270 檐杖 俗呼為扞

入朝市去者

1263 幌 打數

1264 帷

1265 幔

1266 幄

1267 襪 衣襪

已上七種 禪家用之

1261 物相 分飯器

1262 食箱 本國食箱下置二壺上藏食物中凡二替異越食箱皆夷

1256 竹篋 打人杖

1257 助老

1258 禪板

1259 蒲團

1260 瓣香

1252 乳木 護摩用之土產白膠木作也

1253 標 壇上用之已上八種真言具足

1254 柱杖

1255 拂子

1294 鞞 一名蹈皮鹿皮為之而包於踝

1295 帶 有編者有織者按永樂時賜帶與其國王及通事

1296 暖手

一名手覆鹿皮為之蓋其西北之地冬月苦寒便於策馬提鴈遊獵也

1297 吳綾 昔自吳中得織藝歸始作綾故曰吳綾一名吳織

1298 錦 惟其國王王妃出用之婦女優人替用之

1299 明衣 沐浴之衣其作甚長不欲裸體

1300 金欄

1301 金紗

1302 金羅

1303 北絹

1304 段子

1305 縐子

1306 木棉 入朝市去者

1307 羅

1308 羅皂

1309 綾羅

1310 錦繡

1311 精好素紗 洪武初賜使袈裟

1312 印金梅花 梅花紋網也

1313 縠 縠練

1314 袈裟

1315 明孔 洪武初賜使袈裟

1316 割截 二者袈裟法式也

1317 種子袈裟

1318 紫甲

1319 青甲 二者皆鎧衣也

1320 袍裳 唐時朝臣粟田衣紫袍宋時賜使紫方袍

1321 橫尾

1322 鈍色

1323 表袴

1324 柏直襪

1325 素絹

已上十一種皆聖道家所用也

1326 褊衫

1327 褊襪

1328 裳 已上三種律家所用也

1329 衫隔衣

1330 掛落 落或作絡

1331 裙

1332 帽子

1333 打眠衣

一云他免衣一云宿衣寢衣也

1334 平江條 昔自姑蘇市去者已上七種禪家所用也

1335 長絹

1336 水干

1337 大口

1338 直垂

1339 布衣

1340 裝束裙

衣後拽者

1341 狩衣

1342 肩衣

1343 乳隱十德 俗所用也

1344 維 衣名

1345 細美大布

1346 被 衾用俗鮮有之

1347 平包泗洲

平包和尚始作者故名

1348 補襠

1349 鞦

1350 鞞

1351 袷 衣無

1352 綿 頗出越中多是入朝市去者

綵色

1357 襪 1358 襪 1359 指懸組藥玉 五月五日小兒袖懸之一名長命縷又名續命縷以五色線為之禳惡鬼也

1360 犢鼻褌 1361 膚袴 1362 脚絆 1363 行纏 1364 汗拭 1365 篠懸 1366 襍輪 車具俗謂衣之領名襍輪 1367 袂 1368 袖 1369 袂

1370 領 1371 法被 1372 棍 1373 打敷 1374 水引 同袋囊 1375 手覆 1376 蹈皮 1377 幕 1378 木蘭地 1379 經

1380 緯 1381 函櫃 1382 衣帳 幪也 1383 蚊帳 鮮有 1384 鍼 1385 絨 1386 大紅線 1387 唐紙 1388 紗 1389 紇 已上六者入朝市去

1390 貫堂 1391 摺衣 1392 鞋 1393 小袖 1394 生衣 1395 升帛 1396 地單 1397 熨斗 1398 梭 1399 機

1400 越調 1401 斷金調 1402 平調 1403 勝絕調 1404 下無調 1405 雙調 1406 鳧鍾調 1407 黃鍾調 1408 鸞鏡調 1409 盤涉調 1410 神仙調 1411 上無調

1412 朱 1413 丹 1414 駃 1415 青 1416 白綠 1417 紺青 1418 白青 1419 牛粉 或云胡粉一云胭脂 1420 雲母 1421 薄滅金 1422 濃繪 1423 蒔繪 1424 經粉 或云胭脂 1425 朽葉 1426 淺黃 紺

1427 青黃 縹 1428 雌黃 黃灰 1429 梅花染 1430 狂紋染 1431 鹿間紺 1432 火威 鎧毛 1433 糟毛 馬毛 1434 鹿毛 1435 河原毛 1436 連錢葦毛 1437 鶉毛 1438 栗毛 1439 宿鶉毛 1440 雪蹈毛 鷲 1441 雲雀毛 1442 黑毛 水 1443 黑毛 洗皮

1444 青毛 木 1445 猿毛 1446 黛村濃 黛村作也 1447 隱岐綠 隱岐作也 1448 薄紫 1449 杜名染 1450 金青 1451 綠青

1452 粥 增水 1453 膏粥 正月望日作粥浮膏祭土 1454 紅調粥 赤荳粥也事同 1455 飯 炊粳或粟以為之 1456 茶 恒磨為細末鼎常餘沸湯凡飲取茶入孟微着湯乃以茶筴攪勻添湯而飲之

1457 荳腐 效華言語 1458 麩 以粳炊飯勻以柴灰少許閉於麩室候乾取出而用之 1459 酒 名稱天野作於

1460 越調 1401 斷金調 1402 平調 1403 勝絕調 1404 下無調 1405 雙調 1406 鳧鍾調 1407 黃鍾調 1408 鸞鏡調 1409 盤涉調 1410 神仙調 1411 上無調

1462 醋 黃豆為之 1463 橙醋 橙瓣作汁以名之 1464 醬 黃荳去皮炊煮為之或和麩作或炊赤荳以作俗多食之 1465 燒酒 作法同 1466 白酒 洗糟水也

1467 豈腐 效華言語 1468 麩 以粳炊飯勻以柴灰少許閉於麩室候乾取出而用之 1469 酒 名稱天野作於

1470 醋 黃豆為之 1471 橙醋 橙瓣作汁以名之 1472 醬 黃荳去皮炊煮為之或和麩作或炊赤荳以作俗多食之 1473 燒酒 作法同 1474 白酒 洗糟水也

飲食

1475 粥 增水 1476 膏粥 正月望日作粥浮膏祭土 1477 紅調粥 赤荳粥也事同 1478 飯 炊粳或粟以為之 1479 茶 恒磨為細末鼎常餘沸湯凡飲取茶入孟微着湯乃以茶筴攪勻添湯而飲之

1480 荳腐 效華言語 1481 麩 以粳炊飯勻以柴灰少許閉於麩室候乾取出而用之 1482 酒 名稱天野作於

1483 醋 黃豆為之 1484 橙醋 橙瓣作汁以名之 1485 醬 黃荳去皮炊煮為之或和麩作或炊赤荳以作俗多食之 1486 燒酒 作法同 1487 白酒 洗糟水也

1488 豈腐 效華言語 1489 麩 以粳炊飯勻以柴灰少許閉於麩室候乾取出而用之 1490 酒 名稱天野作於

1491 醋 黃豆為之 1492 橙醋 橙瓣作汁以名之 1493 醬 黃荳去皮炊煮為之或和麩作或炊赤荳以作俗多食之 1494 燒酒 作法同 1495 白酒 洗糟水也

禮樂

1496 越調 1497 斷金調 1498 平調 1499 勝絕調 1500 下無調 1501 雙調 1502 鳧鍾調 1503 黃鍾調 1504 鸞鏡調 1505 盤涉調 1506 神仙調 1507 上無調

1508 越調 1509 斷金調 1510 平調 1511 勝絕調 1512 下無調 1513 雙調 1514 鳧鍾調 1515 黃鍾調 1516 鸞鏡調 1517 盤涉調 1518 神仙調 1519 上無調

1520 越調 1521 斷金調 1522 平調 1523 勝絕調 1524 下無調 1525 雙調 1526 鳧鍾調 1527 黃鍾調 1528 鸞鏡調 1529 盤涉調 1530 神仙調 1531 上無調

1532 越調 1533 斷金調 1534 平調 1535 勝絕調 1536 下無調 1537 雙調 1538 鳧鍾調 1539 黃鍾調 1540 鸞鏡調 1541 盤涉調 1542 神仙調 1543 上無調

1544 越調 1545 斷金調 1546 平調 1547 勝絕調 1548 下無調 1549 雙調 1550 鳧鍾調 1551 黃鍾調 1552 鸞鏡調 1553 盤涉調 1554 神仙調 1555 上無調

1492 羊羹 地無山胡羊族此羶羊也
1493 鷺腸羹
1494 鱸腸羹
1495 松露羹

謂殘杯
1490 最花 最初諸花始開時採之以獻神也
1491 猪羹 地無家豕野豕作也

春熟八合
1488 豕餅 地無家豕之種謂雜五行書十月亥日作餅食之令人無病故云豕餅
1489 落索 熟米也糶米一升

出彼南海以椒醬醋和湯飲之
1483 棍布 出彼東海為片捲椒以食
1484 供佛餉

凡食必厭留蘆四五寸持之以醃醬食
1481 炊芋 炊熟去皮醃椒鹽食薯與山藥食同之又或以之調魚肉
1482 海藻

種類潮漳烹熟去介肉約舐許乃為之片和薑鹽醋而食
1479 糟穉鮑 即石厥蝦入沸湯去其介糟穉而食
1480 鮮薑

取諸小魚和之以鹽置大桶中既久成鹵以為佳味此即臨海水
1478 烹鰕

生鯉 魚生也形大鮮魚去皮骨為片夏以蓼汁冬無蓼汁則用沸醋胡椒白鹽勻入魚生以食之凡漁得鮮多食其目
1477 魚鹵

薄新板上或作魚形向火炙熱或醃椒鹽或加醋食
1475 醉魚乾 魚形似鱸鮓人食則醉若食其鮮而醉沉矣

寄音佳茲阿多出土佐按彼鯉種類鱸取鯉背肉蒸熟作乾為片醃鹽食或以和索麩而食之
1474 蒲鉾 取魚去皮以釘按魚以刀刮肉置於

蕨粉 蕨根為之作糶糖而食
1472 油 芝麻為之俗罕食此故少痰症其惟和藥用之

青殼炊之春去皮粒則糯曬乾收貯客至獻此以代茶
1470 餛糧 臘月炊梗凍乾為糶出行食之凡食時必用清水多洗而食或復煮食之

一云麻糍糯米為餅蕨謂為衣凡臘月多炊飯杵搗成餅乾之以作餵糧家有大小作有寡多
1469 糶粒 新禾將登乃取

之冬月無蓼削魚脊乾以為片入沸湯鼎中乃下椒醬湯既熟乃盛入碗取麩下湯以食之
1467 饅頭 麥麩為之煮洗赤荳沙和沙糖以為餡

如浙之煮其色甚白蓋其島麓多沙石少淤泥故水澄清鹽色潔白矣
1466 索麩 作法同者熟則入冷水夏取鮮蓼作汁調和食

〔疾病〕
1552 鬱憤
1553 脚氣
1554 氣喘
1555 癆瘵

其餘悉用中國醫方
1548 羊蹄膏
1549 竹傳膏 方從天竺傳來者
1550 膏藥
1551 生鹿腸

內補散
1545 屠蘇白散 服之
1546 連翹湯
1547 養胃湯

蠟礬丸
1541 五香丸
1542 仙人丸
1543 香蘇散

阿伽陀神明丸
1537 理中丸
1538 兔絲子丸
1539 腦麝丸

〔藥餌〕
1533 香蘇丸
1534 潤腸丸
1535 神仙解毒丸

藥 餌 疾 病

漬楊梅
1530 楊梅錢
1531 鹽梅
1532 柿乾

草餅 三月三日作之祭祖先
1526 糕
1527 糝
1528 漬防風

筍乾
1521 鮓膾
1522 三峯饅 初起僧作
1523 強飯
1524 赤飯

織蘿蔔
1517 乾瓢 乾餲子
1518 烏頭布
1519 搗栗

納荳
1512 飴酢
1513 辣菜
1514 莖
1515 辛茄

紅糟
1506 粽
1507 粢
1508 糗
1509 粿

碁子麵
1501 水花麩
1502 餛飩
1503 水團
1504 搔餅

蟹羹 海蟹也
1497 水蟾
1498 糟雞 雉雞也
1499 溫雞 水烹山雉也

1556 噎病
1557 消渴
1558 瘡瘻
1559 腫塊
1560 水腫

1561 脹滿
1562 癥瘕 血凝結也
1563 積聚 氣凝結也
1564 中風

1565 荒痢
1566 赤痢
1567 下風
1568 夜洩
1569 頭鼓

1570 大便細蟲
1571 疝
1572 大痲風 餘未之聞

鬼神

1573 先師文廟 開於下野題名學校一名足利又稱風世
1574 僧寺奉神
1575 老子

1576 釋迦牟尼佛
1577 達摩禪師
1578 阿彌陀佛
1579 豬頭蜺子

1580 布袋和尚
1581 觀音
1582 阿難
1583 迦葉
1584 文殊

1585 普賢
1586 金剛
1587 揭帝
1588 韋馱
1589 天王

1590 地藏王
1591 俱生神 冥府善惡之神司
1592 佛印禪師 以下通祀之神

1593 社稷
1594 回祿
1595 伊奘諾尊
1596 伊奘册尊 此二神者乃其

1598 天照皇大神 社在伊勢
1599 鎮國香推大神 (マヤ)
1600 大奈良姬大神

1601 八番大菩薩 社在山城
1602 春日大明神 社在大和
1603 貴布禰 神在船

1604 宇賀 神在福
1605 鎮守伯 神在大常
1606 社務 神有功
1607 神主 先祖

1608 禰宜 先考
1609 鬼神大夫 神在刀
1610 耆婆
1611 扁鵲 已上二神醫家祀之

1612 五百義士廟 在白杵原五百義士者其古伊豫兵遭因其間皆剖腹而死自後感應於白杵凡用兵者必先禱之默相也

1613 硯巫 神
1614 秦王祠 在紀伊熊野山祀秦連方士徐福福於始皇二十八年詛使蓬萊求長生藥乃於登州海島結船蹈海故

1615 化善觀世音祠 今島有徐福名福部童男童女數千人趨失所求懼加誅戮止於夷澶二洲間即今紀伊遠江之地先號秦王國今為倭屬故有是祠

1616 義勇武安王祠 在松浦世射氣世射氣倭音也斯神也不計年代因入貢夷之於普陀奉神往彼卓庵事之凡值聖誕神虎出焉啗人畜而後

1617 大唐厲鬼祠 在松浦港按祠

1618 僧都
1619 都官
1620 僧正
1621 都寺

佛法

1622 監寺 〔稱呼〕(僧加部位)
1623 副寺
1624 上副寺
1625 下副寺
1626 東堂長老

1627 西堂長老
1628 前堂首座
1629 後堂首座
1630 東藏主

1631 西藏主
1632 書記
1633 頭首
1634 知客侍者
1635 喝食行者

1636 行堂侍者
1637 燒香侍者
1638 書狀侍者
1639 請客侍者

1640 湯藥侍者
1641 衣鉢侍者
1642 看寮行者
1643 聽叫行者

1644 暖寮
1645 知事
1646 免僧
1647 納所
1648 多聞

1649 維那
1650 典座
1651 直歲
1652 浴主
1653 淨頭

- 1682 清成法(印)下
- 1683 八幅官寺檢校法(印)下 元命息
- 1684 玄賓大僧正
- 1680 長谷寺大僧正 覺忠法性寺大殿御子
- 1681 教圓法(印)下 前伊勢守藤原考忠胡臣諸子
- 1678 花林院權僧正 永孫式部大輔永資息與福寺別當
- 1679 櫻井大僧正 行慶國城寺長老白川院諸子
- 1676 一乘房大僧正 仁覺士諸門左大臣
- 1677 平覺院大僧正 行尊諸子母宰相基平小一條院諸息
- 1673 禪林大僧正 深覺東寺長者九條左大臣諸子
- 1674 梨本大僧正明映天台座主
- 文章生 藤原後宗息伊勢守祐之孫
- 1675 木幡權僧正 靜貧前二條關白諸息母小式部内侍
- 1670 智證大師 俗姓本氏讚岐助耶珂郡人夷王文德時十禪師内供奉權十僧都是也
- 1671 花山僧正 少納言良
- 讚岐多度郡夷王平城嵯峨時贈大僧正真言宗祖師
- 1669 慈覺大師 俗姓壬生下野都賀郡人夷王仁明時贈法師大和尚
- 書倭字始自本僧及弘法大師護明宗正吉備大臣所作又考夷王光孝時有僧曰睿入朝傳考
- 1668 弘法大師 俗姓佐伯家居
- 處南方 東大寺
- 1667 傳教大師阿闍黎天台宗祖 俗姓三津家居江州滋加郡夷王平城嵯峨時人國
- 遷樂師寺先是夷王以之巡行於通國始繪國之輿圖故號行基後死陸奧云
- 1666 德一菩薩 惠美大臣仲磨諸子夷王嵯峨時居
- 1665 行基菩薩 俗姓志高其先百濟國王之胤家居和泉大島郡夷王聖武孝謙時人當聖武時姑為大僧正住持營原寺再
- 1664 調菜人
- 1659 堂司
- 1660 門守
- 1661 陪堂
- 1662 楞嚴頭
- 1663 修造主人
- 1654 直堂
- 1655 寮主
- 1656 參頭
- 1657 飯頭
- 1658 副參

- 1685 觀教大僧正 公忠弁息
- 1686 隆貧大僧都 中關白諸子母馬内旺女
- 1687 清弼僧都 參議大江朝綱息
- 1688 公貧僧都 中納言經家可息定頼之孫
- 1689 覺雅僧都 六條左大臣諸息
- 1690 源賢法眼 前攝津守源操仲息
- 1691 真靜津師 律
- 1692 長濟津師 讚岐守守經朝臣息
- 1693 慶還津師 輔親卿養子世神祇載大輔大中臣元子孫
- 1694 實源津師 律 肥後人
- 1695 靜昭法橋 成忠卿息
- 1696 忠命法橋 延宋
- 1697 擬講紀何入道慈光房索旦 勝超
- 1698 已講香雲房道命阿闍黎 傳大納言道總卿諸息天王寺別當
- 1699 隆源阿闍黎 梨 若狹守藤原通宗息
- 1700 顯昭阿闍黎 顯補張獨子延歷寺移住仁和寺
- 1701 靜藏貴所定額 善宰相行息
- 1702 靜嚴得業 興福寺四室隆緣立者 伯耆守隆忠息母若狹守通宗女
- 1703 興福寺四室隆緣立者
- 1704 蒙範供奉 右京亮生戶致行息載大内記致時孫
- 1705 聖梵入寺 元入延歷寺移住東大寺
- 1706 靜藏貴所定額 善宰相行息
- 1707 戒秀定額 肥後守清原元補息花山院殿之法師
- 1708 空也聖人 六波羅寺寺未於號乎聖
- 1709 增賀聖人 參議桓平息右匠少將敦清孫
- 1710 性空聖人 號書寫聖人從四位下相善清息
- 1711 目貧聖人 入滅於大唐天台國清寺
- 1712 日藏聖人 金峯山善宰相善行弟
- 1713 玄範聖人 津守國基同時人
- 1714 良忍聖人 尾張國人稱大原瀧主
- 1715 瞻西上人 雲居寺本願圖利哥曼佗羅
- 1716 會坂蟬丸 旨目道於書常不剃除放餘人號翁或云仙人寧治山信讓作和歌式基
- 1717 索性法師 良峯宗真息

1718 山田法師 有家
1719 兼勢法師 伊勢極
1720 義陶法師 古息

1721 蓮仲法師 良峯宗貞未藁佐
度守為候息六
1722 勝觀法師 比寬和
1723 兼慶法師 比寬和

花山院殿 尉之法師 1724 惠慶法師 寬和比人
有家業集 1725 增基法師 田又名增堅法師
家集號廬主亭主字

1726 元慶法師 對馬守源 茂親息
1727 永成法師 越前守源 孝通孫
1728 懷貧法師 (圓) 左馬助藤原

筑前守源 道濟息 1729 良還法師 作於聞祇 園別當
1730 永弼法師 (マ) 肥後權守敦舒 息家集號一人
左馬助藤原 化木光息

1731 後惠法師 (俊) 後賴朝 臣息
1732 水源法師 (肥後權守敦舒 息家集號一人)

1733 源緣法師 通宗朝 臣同時
1734 登連法師

1735 天朝天童密庵 威傑
1736 靈隱松源 崇岳
1737 道場運庵 普岩

1738 徑山虚堂 智愚
1739 日本建長南浦紹明圓通大應國師

師 1740 大德開山崇峯妙超禪大燈高明正燈國師

1741 德禪開山徹翁 義亭 (亭)

1742 卓然立
1743 大像 宗嘉
1744 如意言外 宗思 (忠)

1745 大機弘 宗禪

1746 華叟 宗曇
1748 宗惠大照禪師大德養叟 正頤

1747 藏主 宗樹
1749 大模 宗範
1750 春作祥興首座
1751 乘

院守禪庵開山燈庵 宗金 本院在比睿 山西麓之南
滿國師怡雲悅本院在大德寺中
1752 大德瑞峯院普應大

〔卷四〕

書籍

1753 大統歷 1754 勸善書 1755 內訓書 1756 四書 先惟論孟 乃劉向注

朱子本旨 近有之 1757 五經 1758 釋文三註 1759 史記

1760 索隱史畧 1761 十九史略 1762 通鑑 1763 綱目賈誼新書

1764 詩學 1765 韻府群玉 1766 唐宋千家詩 1767 千首唐詩

1768 市文 1769 文選 1770 文粹 1771 事林廣記 1772 翰墨大全

1773 太平御覽 1774 支那西還記 1775 白居易集 1776 鄭氏孝經

1777 孝經新義 1778 圖繪寶鑑 1779 大藏經 1780 法華經

1781 華嚴經 1782 蓮華經 1783 多心經 1784 金剛經

1785 六祖壇經 1786 孔雀經 1787 傳燈錄 1788 趙都御史羅

漢榜 藏于白杵 海藏寺 1789 醫書大全 翻刻者 1790 丹溪心法

1791 東垣十書 1792 圖經本草 1793 孫武十三篇 1794 武經七書

1795 百將傳 自此以下 皆夷書

1845 房官 <small>門跡奉公人</small>	1841 幽靈 <small>亡</small>	1838 殿 <small>官民通稱</small>	1842 鑄物師 <small>職人</small>	1843 居鷹 <small>虛人</small>	1844 一門 <small>親類</small>	1848 馬借	1846 伯樂 <small>俗指醫馬之師</small>	1847 博勞 <small>馬商人</small>	1849 番匠 <small>一云棟梁飛驒巧人木工也</small>	1850 放家 <small>術者</small>	1851 祝子 <small>巫者</small>	1799 世譜	1800 文夾系圖	1801 日本國王實錄	1802 職員錄	1797 日本涓圖定境文	1798 本記	1803 聖德太子憲法	1804 御成敗事式目	1805 史記	1806 下學集	1807 節用集	1808 聚分韻畧	1809 絕海度唐詩	1810 連要抄	1811 玉函秘訣	1812 十節記	1813 金葉集	1814 萬葉集	1815 源氏拾遺	1816 源氏後拾遺	1817 世風記	1818 齊諧記	1819 續齊諧記	1820 少納抄 <small>(マ)</small>	1821 倭名集	1822 倭國法	1823 律呂	1824 星歷	1825 流年歷	1826 勅使	1827 唐人	1828 仙洞 <small>指夷王宮俗云其主皆稱王</small>	1829 姑射山 <small>指夷王</small>	1830 儲君 <small>春宮青闈東宮龍樓俱指夷王子</small>	1831 天枝帝葉 <small>指夷親王</small>	1832 準三后	1833 官房 <small>指夷王妃又稱宮房候門人</small>	1834 內親王	1835 女御 <small>指夷王宮女侍從</small>	1836 日君 <small>謂夷王</small>	1837 月卿	1838 殿 <small>謂夷臣</small>	1839 守 <small>士官通稱</small>	1840 一役 <small>一云力者謂人工</small>	1841 幽靈 <small>謂夷臣</small>	1842 鑄物師 <small>職人</small>	1843 居鷹 <small>虛人</small>	1844 一門 <small>親類</small>	1845 房官 <small>門跡奉公人</small>	1846 伯樂 <small>俗指醫馬之師</small>	1847 博勞 <small>馬商人</small>	1848 馬借	1849 番匠 <small>一云棟梁飛驒巧人木工也</small>	1850 放家 <small>術者</small>	1851 祝子 <small>巫者</small>	1852 把鍼者 <small>洗衣人</small>	1853 半物 <small>女下</small>	1854 房士 <small>也夫</small>	1855 末子 <small>兒小</small>	1856 平家 <small>平氏家也</small>	1857 土民 <small>姓百</small>	1858 刀禰 <small>師船</small>	1859 頭人	1860 廳 <small>門跡奉公人長</small>	1861 塗土 <small>漆師職人</small>	1862 御曹子	1863 出 <small>左傳云姊妹之子</small>	1864 家督 <small>一云家德俗謂一家之總領</small>	1865 楳取	1866 語勢 <small>軍</small>	1867 脚力 <small>飛脚</small>	1868 喝食 <small>頭毛</small>	1869 甲乙人 <small>上下之人</small>	1870 闔閣 <small>奉行職人</small>	1871 大名 <small>國守護一云錢持</small>	1872 垂乳根 <small>謂親也</small>	1873 當腹 <small>息子</small>	1874 大工 <small>職人</small>	1875 帶刀	1876 巡固 <small>警固人</small>	1877 吳綾 <small>一名吳織按唐時夷從南</small>	1878 山賤 <small>山人</small>	1879 山彦 <small>木偶或作魂</small>	1880 檢兒 <small>犬追物謂玉藻指悍婦詳見隨島新編石字下</small>	1881 下戸 <small>俗指不飲者</small>	1882 京雅 <small>或云經屋商人</small>	1883 檢校 <small>座頭又官名</small>	1884 小性 <small>俗呼小兒云</small>	1885 御亭 <small>主人</small>	1886 后室 <small>後家北堂俱同</small>	1887 振子 <small>註云文選子振子萬章丹官玄製</small>	1888 紺搔 <small>人職</small>	1889 兄部 <small>力者中頭</small>	1890 木守 <small>者力</small>	1891 御分 <small>人下</small>	1892 火番 <small>部下</small>	1893 乞食 <small>非人俗非殘疾不丐</small>	1894 勾當 <small>頭座</small>	1895 穢多 <small>屠兒世河源者</small>	1896 惠美酒 <small>名神</small>	1897 傳奏 <small>家公</small>	1898 田樂 <small>人遊</small>	1899 典琴 <small>僕小</small>	1896 行基圖	1797 日本涓圖定境文	1798 本記	1803 聖德太子憲法	1804 御成敗事式目	1805 史記	1806 下學集	1807 節用集	1808 聚分韻畧	1809 絕海度唐詩	1810 連要抄	1811 玉函秘訣	1812 十節記	1813 金葉集	1814 萬葉集	1815 源氏拾遺	1816 源氏後拾遺	1817 世風記	1818 齊諧記	1819 續齊諧記	1820 少納抄 <small>(マ)</small>	1821 倭名集	1822 倭國法	1823 律呂	1824 星歷	1825 流年歷	1826 勅使	1827 唐人	1828 仙洞 <small>指夷王宮俗云其主皆稱王</small>	1829 姑射山 <small>指夷王</small>	1830 儲君 <small>春宮青闈東宮龍樓俱指夷王子</small>	1831 天枝帝葉 <small>指夷親王</small>	1832 準三后	1833 官房 <small>指夷王妃又稱宮房候門人</small>	1834 內親王	1835 女御 <small>指夷王宮女侍從</small>	1836 日君 <small>謂夷王</small>	1837 月卿	1838 殿 <small>謂夷臣</small>	1839 守 <small>士官通稱</small>	1840 一役 <small>一云力者謂人工</small>	1841 幽靈 <small>謂夷臣</small>	1842 鑄物師 <small>職人</small>	1843 居鷹 <small>虛人</small>	1844 一門 <small>親類</small>	1845 房官 <small>門跡奉公人</small>	1846 伯樂 <small>俗指醫馬之師</small>	1847 博勞 <small>馬商人</small>	1848 馬借	1849 番匠 <small>一云棟梁飛驒巧人木工也</small>	1850 放家 <small>術者</small>	1851 祝子 <small>巫者</small>	1852 把鍼者 <small>洗衣人</small>	1853 半物 <small>女下</small>	1854 房士 <small>也夫</small>	1855 末子 <small>兒小</small>	1856 平家 <small>平氏家也</small>	1857 土民 <small>姓百</small>	1858 刀禰 <small>師船</small>	1859 頭人	1860 廳 <small>門跡奉公人長</small>	1861 塗土 <small>漆師職人</small>	1862 御曹子	1863 出 <small>左傳云姊妹之子</small>	1864 家督 <small>一云家德俗謂一家之總領</small>	1865 楳取	1866 語勢 <small>軍</small>	1867 脚力 <small>飛脚</small>	1868 喝食 <small>頭毛</small>	1869 甲乙人 <small>上下之人</small>	1870 闔閣 <small>奉行職人</small>	1871 大名 <small>國守護一云錢持</small>	1872 垂乳根 <small>謂親也</small>	1873 當腹 <small>息子</small>	1874 大工 <small>職人</small>	1875 帶刀	1876 巡固 <small>警固人</small>	1877 吳綾 <small>一名吳織按唐時夷從南</small>	1878 山賤 <small>山人</small>	1879 山彦 <small>木偶或作魂</small>	1880 檢兒 <small>犬追物謂玉藻指悍婦詳見隨島新編石字下</small>	1881 下戸 <small>俗指不飲者</small>	1882 京雅 <small>或云經屋商人</small>	1883 檢校 <small>座頭又官名</small>	1884 小性 <small>俗呼小兒云</small>	1885 御亭 <small>主人</small>	1886 后室 <small>後家北堂俱同</small>	1887 振子 <small>註云文選子振子萬章丹官玄製</small>	1888 紺搔 <small>人職</small>	1889 兄部 <small>力者中頭</small>	1890 木守 <small>者力</small>	1891 御分 <small>人下</small>	1892 火番 <small>部下</small>	1893 乞食 <small>非人俗非殘疾不丐</small>	1894 勾當 <small>頭座</small>	1895 穢多 <small>屠兒世河源者</small>	1896 惠美酒 <small>名神</small>	1897 傳奏 <small>家公</small>	1898 田樂 <small>人遊</small>	1899 典琴 <small>僕小</small>
---------------------------------	-----------------------------	-------------------------------	-------------------------------	------------------------------	------------------------------	---------	----------------------------------	-------------------------------	---------------------------------------	------------------------------	------------------------------	---------	-----------	-------------	----------	--------------	---------	-------------	-------------	---------	----------	----------	-----------	------------	----------	-----------	----------	----------	----------	-----------	------------	----------	----------	-----------	--------------------------------	----------	----------	---------	---------	----------	---------	---------	---------------------------------------	--------------------------------	---	----------------------------------	----------	---------------------------------------	----------	-----------------------------------	-------------------------------	---------	------------------------------	-------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	------------------------------	------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	-------------------------------	---------	---------------------------------------	------------------------------	------------------------------	--------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	--------------------------------	------------------------------	------------------------------	---------	---------------------------------	--------------------------------	----------	----------------------------------	---------------------------------------	---------	-----------------------------	------------------------------	------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------	------------------------------	------------------------------	---------	-------------------------------	--------------------------------------	------------------------------	---------------------------------	--	---------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	------------------------------	----------------------------------	---	------------------------------	--------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------------	------------------------------	----------------------------------	-------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	----------	--------------	---------	-------------	-------------	---------	----------	----------	-----------	------------	----------	-----------	----------	----------	----------	-----------	------------	----------	----------	-----------	--------------------------------	----------	----------	---------	---------	----------	---------	---------	---------------------------------------	--------------------------------	---	----------------------------------	----------	---------------------------------------	----------	-----------------------------------	-------------------------------	---------	------------------------------	-------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	------------------------------	------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	-------------------------------	---------	---------------------------------------	------------------------------	------------------------------	--------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	--------------------------------	------------------------------	------------------------------	---------	---------------------------------	--------------------------------	----------	----------------------------------	---------------------------------------	---------	-----------------------------	------------------------------	------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------	------------------------------	------------------------------	---------	-------------------------------	--------------------------------------	------------------------------	---------------------------------	--	---------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	------------------------------	----------------------------------	---	------------------------------	--------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------------	------------------------------	----------------------------------	-------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------

1900 徹衆 註云德政土一擦也

1901 猿樂 人遊

1902 祖代 註云千代若皆小兒名

1903 鍛冶 打鐵器人

1904 主君 指司牧也

1905 山卧 一云山伏役行者流

1906 仕丁

1907 御屋形 指親王之為刺史者又稱曰鶴

1910 御宇 俗指夷王

1911 御内 俗指相公之婦

1912 名主 百姓

1913 社務 人神

1914 白波 賊盜白波者謂無生理白日於海弄波也

1915 破帆 賊盜破帆者謂如帆

1916 白拍子 歌舞而銜賣女色者一云妓女一云金口打一云唱門師一云風流一云傾城官

1917 庄官 頭百姓

1918 上戸 俗指飲者

1919 評議衆 談舍

1920 物夫 武士

1921 門守 名官

1922 千駄櫃 商人

1923 是害坊 狗天

1924 鳥居

1925 瑞籬 神棲也

1926 埽馬坊 雜

1927 埽雜

1928 雪隱 廁

1929 方藥 謂華表

1930 暗向 人虛

1931 碁手 談

1932 北面 伺候仙洞之武士

1933 鈍漢 人無智

1934 累祖 先祖也

1935 曩祖

1936 元祖

1937 鼻祖 三祖也

1938 家來 家人也

1939 宗匠 先達

1940 圖子

1941 繩手 直路

1942 堅者

1943 精

1944 探題

1945 題者 小路也或作通次

1946 採題

1947 法務

1948 已消

1949 僧綱

1950 執當

1951 啟白 啓

1952 表白 已上數條教家所用

1953 朝臣

2009 即位 御宇之神謂之大常會十二月卯日也

2010 寶祚 御宇之始也

2011 大常會 謂夷王即位之年以新米獻伊勢大

1954 真人 已上謂三戸也戸名數十號此舉其三

1955 宿禰

1956 惡客 唐元次山呼不飲者

2012 印可 印信也

2013 因地 五月五日國俗戲鬥爭勝也

1957 佞人 小又已下夷僧稱呼

1958 年寄衆

1959 殿波羅

1960 師資 師弟也

1961 長老 入道

1962 靈氣

1963 律僧

1964 晚達

1965 晚出家

1966 尼宗

1967 衆寮

1968 兩班

1969 僧主位

1970 本尊

1971 脇士

1972 御影

1973 新戒

1974 布薩

1975 導師

1976 師正

1977 禪客

1978 沙彌

1979 衆徒

1980 頭佗 僧之通稱

1981 法眷

1982 小師

1983 弟子

1984 坊主 坊主

1985 法師

1986 炭頭 行者官名

1987 住持

1988 知寺

1989 上方 持住

1990 貼供 一云行堂一云行者一云淨人一云參頭

1991 供頭 行者名位

1995 蒙堂 僧位

1992 尸位 稱僧

1993 世度扉 山林小僧

1994 禪和子 納僧也

1999 副參 行僧

1996 兄弟衆 叢林僧衆

1997 社僧

1998 遊行 夷中惡之

2002 座頭 又稱琵琶法師乃警目僧喝喫僧也

2000 塔子 院房之主

2001 頂相 禪家呼僧

2005 鉢叩 空野上人未流

2006 法橋

2003 所師代 侍者

2004 門跡 聖道

2008 檀那 又檀懺僧稱施主

2007 師檀 僧俗素同

事 說

何此四聖道家宮名

2003 師檀 僧俗素同

- 2172 回祿 義焰上
- 2173 確執 義遺恨
- 2174 回鱗 回魚回鯉皆書禮之返報
- 2168 如件 次也
- 2169 口說 之義述懷
- 2170 管絃 也樂
- 2171 管見 義智
- 2165 官度 領受
- 2166 冠落 云呼病
- 2167 久世舞 遊曲或云口宣舞又云曲宜舞
- 2162 暖寮 賀新居等振舞暖寮
- 2163 暖氣 遊山
- 2164 公弁 年貢之義猶中國每年運至京也
- 2160 撲滅 撲滅火尚書以火燎於原不可嚮撲滅
- 2161 右流左止 緣起大神
- 2156 子盾 中違之義
- 2157 飲馬 左傳
- 2158 始冠 初任官義
- 2159 格殺
- 錢掛 2153 無常 之義
- 2154 無狀 之義愛着
- 2155 無念 無念念也
- 2152 棟別
- 2149 濫吹 義鳥亂
- 2150 狼狽 義狼籍
- 2151 無注方 叢林之落書
- 2148 無臘次 第次
- 2146 勞煩 苦辛
- 2147 濫觴 義始
- 2144 歷瘍 之身在
- 2145 洛义
- 2142 視流 傳左
- 2143 索陶 毛詩宵爾索陶
- 2144 歷瘍 之身在
- 2145 洛义
- 2139 內檢 有之就秋田
- 2140 名乘 或作名字倭字以志筆文也
- 2141 假顏 本書謂倭字也
- 2136 廻毛 疵馬
- 2137 難面 有難面
- 2138 餘波 左傳云其波及晉國者君之餘也舟人呼濤曰波
- 2133 刻飾 選文
- 2134 購問 史記購問莫知誰子云
- 2135 粘劄 兩字係暮用之
- 2132 鏃殺 史記鏃殺王
- 2130 無恙 上古漢國倭國皆有恙蟲整人故問詞無恙否云
- 2131 追代 義進發
- 2126 兼菜 也蕪菜
- 2127 追福 義追善
- 2128 通法 通例都合義同
- 2129 追從 也諂
- 2122 連綿 義不絕
- 2123 宗仰 古崇
- 2124 若干 多許
- 2125 存分 存命分命
- 2175 獲麟 一切事終云
- 2176 役夫工米 伊勢大神宮御造營料諸國懸段錢謂段夫工米
- 2177 流鏑
- 2198 權門 家世
- 2199 權輿 義始
- 2200 逆鱗 史記云人主亦有逆鱗
- 2201 校分
- 2194 計會 義貧
- 2195 經徊 來往
- 2196 强健 義伎倆
- 2197 褻晴 之內義
- 2190 闕如 也缺
- 2191 現形 義露顯
- 2192 嫌疑 知無實
- 2193 懸隔 義雲泥
- 2186 結構 走奔
- 2187 饑渴 義饑饉
- 2188 結解 用等
- 2189 譴責 使催促
- 2183 矯矢 史記云砥劍矯矢
- 2184 憲法 義公道
- 2185 還補 本所領取附謂還補
- 2182 屬矢 史記彎弓屬矢出見使者
- 2178 夜盜 暮夜盜賊本俗罕
- 2179 夜討 害殺
- 2180 作矢
- 2225 不肖 言不似人倫
- 2222 付屬 讓
- 2226 風聞 說雜
- 2223 補任 所領新代官任也
- 2227 無為 無事
- 2224 譜代 譜代相傳
- 2228 不宜
- 2218 負物 也借物
- 2219 不熟 耕作惡義
- 2220 豐饒 耕作好義
- 2221 粉骨
- 2211 不快 惡心中
- 2212 不調 義姪亂
- 2213 不當 義貧耽
- 2214 浮沉
- 2215 不合 不和合也
- 2216 不詳 無心之義
- 2217 不祥 凶惡之事日本記不祥
- 2208 不便 意悼
- 2209 不辦 義不足
- 2210 不會 不和合也
- 2204 澆季 末世之義
- 2205 不得心 無情之義
- 2206 不覺 也失錯
- 2207 不敏
- 2202 稽古 義嗜習
- 2203 稽首 稽至也言首至地敬肅之義也

- 2274 起單 請暇之義
- 2275 花奢 俗語
- 2276 規矩 法度
- 2277 舊交
- 2278 京悅 俗語呼連上曰京悅
- 2279 由緒 由故也緒旨也
- 2280 幽玄
- 2281 勇健 伎倆
- 2282 措指 史記爭門措指
- 2283 面目 史記
- 2284 酩酊 醉
- 2285 綿密 懇義
- 2286 目安 史記本記云猶建領水也
- 2287 召文
- 2288 建水
- 2289 些少 少義
- 2289 指南
- 2290 指南
- 2291 唱明 音聲
- 2292 鍾愛 大慈愛
- 2293 出張 敵出張
- 2294 觸穢 禁忌之物
- 2295 愁傷 俗用此字
- 2296 燒亡 燒失
- 2297 嫉妬
- 2298 色體 禮
- 2299 收納 年貢收納
- 2300 左禮 戲也
- 2301 入眼 俗呼成就曰入眼
- 2302 受領 官度受領
- 2303 所務 謂年貢
- 2304 至誠心 無餘念義
- 2305 斷鹽 此事見于婆娑論正理等論
- 2306 如在 二字尊故之義
- 2307 子避 史記云有子避於外子之座
- 2308 灑掃 奉公
- 2309 生涯
- 2310 上表 辭退之義
- 2311 生害 殺也
- 2312 甚事 他事
- 2313 一飾 三具足等云
- 2314 一口 金鞍木用之
- 2315 一腰 大刀云
- 2316 一番
- 2317 一刎 勿之字忌而不書之其用一刎
- 2318 一懸 懸鯛一
- 2319 糺繆
- 2320 菲薄 輕薄之義
- 2321 引繕 字書繕補也
- 2322 離遊
- 2323 披講 詠和歌
- 2324 狂文 下學集有之
- 2325 汲收 闕所之義
- 2326 物故 位牌之上書亡者名位
- 2327 沐浴 俗洗死人云
- 2328 勿體 無正體也
- 2329 蒙昧 無智之義
- 2330 成敗 成平也敗亂也平亂之義
- 2331 精誠 念此
- 2332 給分
- 2333 牛角 或作牙角
- 2334 滑稽 利口之義
- 2335 榮華
- 2336 木居 鷹居
- 2337 緣起 最初之因
- 2338 榮華
- 2339 依怙 自由依怙
- 2340 焔燒 燒火
- 2341 遠行 謂死也
- 2342 捐館 死去
- 2343 緣坐 緣親類之坐罪也
- 2344 調子 昔曲
- 2345 纏頭
- 2346 提綱 法語
- 2347 釣語 索語
- 2348 庭中 直訴詔義
- 2349 逃散 土民背本地而出奔云
- 2350 禦侮 毛詩云兄弟鬩于墻外禦其侮
- 2351 安堵 史記本記
- 2352 中外 矢
- 2353 回島 日本連歌所云
- 2354 求食 鳥求食也庭訓
- 2355 穴賢 上古無居屋人居穴一書禮未語也
- 2356 算用 左右案內之義
- 2357 草創 始義
- 2358 祭禮 神祇
- 2359 早歌 音曲
- 2360 伶俜
- 2361 左遷 流人
- 2362 左道 乏少之義
- 2363 早世 死
- 2364 及第 進士及第夷王延喜村上以來設科取人
- 2365 祇夜 頌也
- 2366 龜鏡 外聞
- 2367 既得 全義
- 2368 行幸 御出
- 2369 義定 平定義同
- 2370 給分
- 2371 勤舊 僧位
- 2372 行義
- 2373 伎倆 強健之義
- 2374 恩
- 2375 花奢 俗語
- 2376 規矩 法度
- 2377 舊交
- 2378 京悅 俗語呼連上曰京悅
- 2379 由緒 由故也緒旨也
- 2380 幽玄
- 2381 勇健 伎倆
- 2382 措指 史記爭門措指
- 2383 面目 史記
- 2384 酩酊 醉
- 2385 綿密 懇義
- 2386 目安 史記本記云猶建領水也
- 2387 召文
- 2388 建水
- 2389 些少 少義
- 2389 指南
- 2390 指南
- 2391 唱明 音聲
- 2392 鍾愛 大慈愛
- 2393 出張 敵出張
- 2394 觸穢 禁忌之物
- 2395 愁傷 俗用此字
- 2396 燒亡 燒失
- 2397 嫉妬
- 2398 色體 禮
- 2399 收納 年貢收納
- 2400 左禮 戲也
- 2401 入眼 俗呼成就曰入眼
- 2402 受領 官度受領
- 2403 所務 謂年貢
- 2404 至誠心 無餘念義
- 2405 斷鹽 此事見于婆娑論正理等論
- 2406 如在 二字尊故之義
- 2407 子避 史記云有子避於外子之座
- 2408 灑掃 奉公
- 2409 生涯
- 2410 上表 辭退之義
- 2411 生害 殺也
- 2412 甚事 他事
- 2413 一飾 三具足等云
- 2414 一口 金鞍木用之
- 2415 一腰 大刀云
- 2416 一番
- 2417 一刎 勿之字忌而不書之其用一刎
- 2418 一懸 懸鯛一
- 2419 糺繆
- 2420 菲薄 輕薄之義
- 2421 引繕 字書繕補也
- 2422 離遊
- 2423 披講 詠和歌
- 2424 狂文 下學集有之
- 2425 汲收 闕所之義
- 2426 提綱 法語
- 2427 釣語 索語
- 2428 庭中 直訴詔義
- 2429 逃散 土民背本地而出奔云
- 2430 禦侮 毛詩云兄弟鬩于墻外禦其侮
- 2431 安堵 史記本記
- 2432 中外 矢
- 2433 回島 日本連歌所云
- 2434 求食 鳥求食也庭訓
- 2435 穴賢 上古無居屋人居穴一書禮未語也
- 2436 算用 左右案內之義
- 2437 草創 始義
- 2438 祭禮 神祇
- 2439 早歌 音曲
- 2440 伶俜
- 2441 左遷 流人
- 2442 左道 乏少之義
- 2443 早世 死
- 2444 龜鏡 外聞
- 2445 既得 全義
- 2446 行幸 御出
- 2447 義定 平定義同
- 2448 給分
- 2449 恩
- 2450 花奢 俗語
- 2451 規矩 法度
- 2452 舊交
- 2453 京悅 俗語呼連上曰京悅
- 2454 由緒 由故也緒旨也
- 2455 幽玄
- 2456 勇健 伎倆
- 2457 措指 史記爭門措指
- 2458 面目 史記
- 2459 酩酊 醉
- 2460 綿密 懇義
- 2461 目安 史記本記云猶建領水也
- 2462 召文
- 2463 建水
- 2464 些少 少義
- 2464 指南
- 2465 指南
- 2466 唱明 音聲
- 2467 鍾愛 大慈愛
- 2468 出張 敵出張
- 2469 觸穢 禁忌之物
- 2470 愁傷 俗用此字
- 2471 燒亡 燒失
- 2472 嫉妬
- 2473 色體 禮
- 2474 收納 年貢收納
- 2475 左禮 戲也
- 2476 入眼 俗呼成就曰入眼
- 2477 受領 官度受領
- 2478 所務 謂年貢
- 2479 至誠心 無餘念義
- 2480 斷鹽 此事見于婆娑論正理等論
- 2481 如在 二字尊故之義
- 2482 子避 史記云有子避於外子之座
- 2483 灑掃 奉公
- 2484 生涯
- 2485 上表 辭退之義
- 2486 生害 殺也
- 2487 甚事 他事
- 2488 一飾 三具足等云
- 2489 一口 金鞍木用之
- 2490 一腰 大刀云
- 2491 一番
- 2492 一刎 勿之字忌而不書之其用一刎
- 2493 一懸 懸鯛一
- 2494 糺繆
- 2495 菲薄 輕薄之義
- 2496 引繕 字書繕補也
- 2497 離遊
- 2498 披講 詠和歌
- 2499 狂文 下學集有之
- 2500 汲收 闕所之義
- 2501 提綱 法語
- 2502 釣語 索語
- 2503 庭中 直訴詔義
- 2504 逃散 土民背本地而出奔云
- 2505 禦侮 毛詩云兄弟鬩于墻外禦其侮
- 2506 安堵 史記本記
- 2507 中外 矢
- 2508 回島 日本連歌所云
- 2509 求食 鳥求食也庭訓
- 2510 穴賢 上古無居屋人居穴一書禮未語也
- 2511 算用 左右案內之義
- 2512 草創 始義
- 2513 祭禮 神祇
- 2514 早歌 音曲
- 2515 伶俜
- 2516 左遷 流人
- 2517 左道 乏少之義
- 2518 早世 死
- 2519 龜鏡 外聞
- 2520 既得 全義
- 2521 行幸 御出
- 2522 義定 平定義同
- 2523 給分
- 2524 恩
- 2525 花奢 俗語
- 2526 規矩 法度
- 2527 舊交
- 2528 京悅 俗語呼連上曰京悅
- 2529 由緒 由故也緒旨也
- 2530 幽玄
- 2531 勇健 伎倆
- 2532 措指 史記爭門措指
- 2533 面目 史記
- 2534 酩酊 醉
- 2535 綿密 懇義
- 2536 目安 史記本記云猶建領水也
- 2537 召文
- 2538 建水
- 2539 些少 少義
- 2539 指南
- 2540 指南
- 2541 唱明 音聲
- 2542 鍾愛 大慈愛
- 2543 出張 敵出張
- 2544 觸穢 禁忌之物
- 2545 愁傷 俗用此字
- 2546 燒亡 燒失
- 2547 嫉妬
- 2548 色體 禮
- 2549 收納 年貢收納
- 2550 左禮 戲也
- 2551 入眼 俗呼成就曰入眼
- 2552 受領 官度受領
- 2553 所務 謂年貢
- 2554 至誠心 無餘念義
- 2555 斷鹽 此事見于婆娑論正理等論
- 2556 如在 二字尊故之義
- 2557 子避 史記云有子避於外子之座
- 2558 灑掃 奉公
- 2559 生涯
- 2560 上表 辭退之義
- 2561 生害 殺也
- 2562 甚事 他事
- 2563 一飾 三具足等云
- 2564 一口 金鞍木用之
- 2565 一腰 大刀云
- 2566 一番
- 2567 一刎 勿之字忌而不書之其用一刎
- 2568 一懸 懸鯛一
- 2569 糺繆
- 2570 菲薄 輕薄之義
- 2571 引繕 字書繕補也
- 2572 離遊
- 2573 披講 詠和歌
- 2574 狂文 下學集有之
- 2575 汲收 闕所之義
- 2576 提綱 法語
- 2577 釣語 索語
- 2578 庭中 直訴詔義
- 2579 逃散 土民背本地而出奔云
- 2580 禦侮 毛詩云兄弟鬩于墻外禦其侮
- 2581 安堵 史記本記
- 2582 中外 矢
- 2583 回島 日本連歌所云
- 2584 求食 鳥求食也庭訓
- 2585 穴賢 上古無居屋人居穴一書禮未語也
- 2586 算用 左右案內之義
- 2587 草創 始義
- 2588 祭禮 神祇
- 2589 早歌 音曲
- 2590 伶俜
- 2591 左遷 流人
- 2592 左道 乏少之義
- 2593 早世 死
- 2594 龜鏡 外聞
- 2595 既得 全義
- 2596 行幸 御出
- 2597 義定 平定義同
- 2598 給分
- 2599 恩
- 2600 花奢 俗語
- 2601 規矩 法度
- 2602 舊交
- 2603 京悅 俗語呼連上曰京悅
- 2604 由緒 由故也緒旨也
- 2605 幽玄
- 2606 勇健 伎倆
- 2607 措指 史記爭門措指
- 2608 面目 史記
- 2609 酩酊 醉
- 2610 綿密 懇義
- 2611 目安 史記本記云猶建領水也
- 2612 召文
- 2613 建水
- 2614 些少 少義
- 2614 指南
- 2615 指南
- 2616 唱明 音聲
- 2617 鍾愛 大慈愛
- 2618 出張 敵出張
- 2619 觸穢 禁忌之物
- 2620 愁傷 俗用此字
- 2621 燒亡 燒失
- 2622 嫉妬
- 2623 色體 禮
- 2624 收納 年貢收納
- 2625 左禮 戲也
- 2626 入眼 俗呼成就曰入眼
- 2627 受領 官度受領
- 2628 所務 謂年貢
- 2629 至誠心 無餘念義
- 2630 斷鹽 此事見于婆娑論正理等論
- 2631 如在 二字尊故之義
- 2632 子避 史記云有子避於外子之座
- 2633 灑掃 奉公
- 2634 生涯
- 2635 上表 辭退之義
- 2636 生害 殺也
- 2637 甚事 他事
- 2638 一飾 三具足等云
- 2639 一口 金鞍木用之
- 2640 一腰 大刀云
- 2641 一番
- 2642 一刎 勿之字忌而不書之其用一刎
- 2643 一懸 懸鯛一
- 2644 糺繆
- 2645 菲薄 輕薄之義
- 2646 引繕 字書繕補也
- 2647 離遊
- 2648 披講 詠和歌
- 2649 狂文 下學集有之
- 2650 汲收 闕所之義
- 2651 提綱 法語
- 2652 釣語 索語
- 2653 庭中 直訴詔義
- 2654 逃散 土民背本地而出奔云
- 2655 禦侮 毛詩云兄弟鬩于墻外禦其侮
- 2656 安堵 史記本記
- 2657 中外 矢
- 2658 回島 日本連歌所云
- 2659 求食 鳥求食也庭訓
- 2660 穴賢 上古無居屋人居穴一書禮未語也
- 2661 算用 左右案內之義
- 2662 草創 始義
- 2663 祭禮 神祇
- 2664 早歌 音曲
- 2665 伶俜
- 2666 左遷 流人
- 2667 左道 乏少之義
- 2668 早世 死
- 2669 龜鏡 外聞
- 2670 既得 全義
- 2671 行幸 御出
- 2672 義定 平定義同
- 2673 給分
- 2674 恩
- 2675 花奢 俗語
- 2676 規矩 法度
- 2677 舊交
- 2678 京悅 俗語呼連上曰京悅
- 2679 由緒 由故也緒旨也
- 2680 幽玄
- 2681 勇健 伎倆
- 2682 措指 史記爭門措指
- 2683 面目 史記
- 2684 酩酊 醉
- 2685 綿密 懇義
- 2686 目安 史記本記云猶建領水也
- 2687 召文
- 2688 建水
- 2689 些少 少義
- 2689 指南
- 2690 指南
- 2691 唱明 音聲
- 2692 鍾愛 大慈愛
- 2693 出張 敵出張
- 2694 觸穢 禁忌之物
- 2695 愁傷 俗用此字
- 2696 燒亡 燒失
- 2697 嫉妬
- 2698 色體 禮
- 2699 收納 年貢收納
- 2700 左禮 戲也
- 2701 入眼 俗呼成就曰入眼
- 2702 受領 官度受領
- 2703 所務 謂年貢
- 2704 至誠心 無餘念義
- 2705 斷鹽 此事見于婆娑論正理等論
- 2706 如在 二字尊故之義
- 2707 子避 史記云有子避於外子之座
- 2708 灑掃 奉公
- 2709 生涯
- 2710 上表 辭退之義
- 2711 生害 殺也
- 2712 甚事 他事
- 2713 一飾 三具足等云
- 2714 一口 金鞍木用之
- 2715 一腰 大刀云
- 2716 一番
- 2717 一刎 勿之字忌而不書之其用一刎
- 2718 一懸 懸鯛一
- 2719 糺繆
- 2720 菲薄 輕薄之義
- 2721 引繕 字書繕補也
- 2722 離遊
- 2723 披講 詠和歌
- 2724 狂文 下學集有之
- 2725 汲收 闕所之義
- 2726 提綱 法語
- 2727 釣語 索語
- 2728 庭中 直訴詔義
- 2729 逃散 土民背本地而出奔云
- 2730 禦侮 毛詩云兄弟鬩于墻外禦其侮
- 2731 安堵 史記本記
- 2732 中外 矢
- 2733 回島 日本連歌所云
- 2734 求食 鳥求食也庭訓
- 2735 穴賢 上古無居屋人居穴一書禮未語也
- 2736 算用 左右案內之義
- 2737 草創 始義
- 2738 祭禮 神祇
- 2739 早歌 音曲
- 2740 伶俜
- 2741 左遷 流人
- 2742 左道 乏少之義
- 2743 早世 死
- 2744 龜鏡 外聞
- 2745 既得 全義
- 2746 行幸 御出
- 2747 義定 平定義同
- 2748 給分
- 2749 恩
- 2750 花奢 俗語
- 2751 規矩 法度
- 2752 舊交
- 2753 京悅 俗語呼連上曰京悅
- 2754 由緒 由故也緒旨也
- 2755 幽玄
- 2756 勇健 伎倆
- 2757 措指 史記爭門措指
- 2758 面目 史記
- 2759 酩酊 醉
- 2760 綿密 懇義
- 2761 目安 史記本記云猶建領水也
- 2762 召文
- 2763 建水
- 2764 些少 少義
- 2764 指南
- 2765 指南
- 2766 唱明 音聲
- 2767 鍾愛 大慈愛
- 2768 出張 敵出張
- 2769 觸穢 禁忌之物
- 2770 愁傷 俗用此字
- 2771 燒亡 燒失
- 2772 嫉妬
- 2773 色體 禮
- 2774 收納 年貢收納
- 2775 左禮 戲也
- 2776 入眼 俗呼成就曰入眼
- 2777 受領 官度受領
- 2778 所務 謂年貢
- 2779 至誠心 無餘念義
- 2780 斷鹽 此事見于婆娑論正理等論
- 2781 如在 二字尊故之義
- 2782 子避 史記云有子避於外子之座
- 2783 灑掃 奉公
- 2784 生涯
- 2785 上表 辭退之義
- 2786 生害 殺也
- 2787 甚事 他事
- 2788 一飾 三具足等云
- 2789 一口 金鞍木用之
- 2790 一腰 大刀云
- 2791 一番
- 2792 一刎 勿之字忌而不書之其用一刎
- 2793 一懸 懸鯛一
- 2794 糺繆
- 2795 菲薄 輕薄之義
- 2796 引繕 字書繕補也
- 2797 離遊
- 2798 披講 詠和歌
- 2799 狂文 下學集有之
- 2800 汲收 闕所之義
- 2801 提綱 法語
- 2802 釣語 索語
- 2803 庭中 直訴詔義
- 2804 逃散 土民背本地而出奔云
- 2805 禦侮 毛詩云兄弟鬩于墻外禦其侮
- 2806 安堵 史記本記
- 2807 中外 矢
- 2808 回島 日本連歌所云
- 2809 求食 鳥求食也庭訓
- 2810 穴賢 上古無居屋人居穴一書禮未語也
- 2811 算用 左右案內之義
- 2812 草創 始義
- 2813 祭禮 神祇
- 2814 早歌 音曲
- 2815 伶俜
- 2816 左遷 流人
- 2817 左道 乏少之義
- 2818 早世 死
- 2819 龜鏡 外聞
- 2820 既得 全義
- 2821 行幸 御出
- 2822 義定 平定義同
- 2823 給分
- 2824 恩
- 2825 花奢 俗語
- 2826 規矩 法度
- 2827 舊交
- 2828 京悅 俗語呼連上曰京悅
- 2829 由緒 由故也緒旨也
- 2830 幽玄
- 2831 勇健 伎倆
- 2832 措指 史記爭門措指
- 2833 面目 史記
- 2834 酩酊 醉
- 2835 綿密 懇義
- 2836 目安 史記本記云猶建領水也
- 2837 召文
- 2838 建水
- 2839 些少 少義
- 2839 指南
- 2840 指南
- 2841 唱明 音聲
- 2842 鍾愛 大慈愛
- 2843 出張 敵出張
- 2844 觸穢 禁忌之物
- 2845 愁傷 俗用此字
- 2846 燒亡 燒失
- 2847 嫉妬
- 2848 色體 禮
- 2849 收納 年貢收納
- 2850 左禮 戲也
- 2851 入眼 俗呼成就曰入眼
- 2852 受領 官度受領
- 2853 所務 謂年貢
- 2854 至誠心 無餘念義
- 2855 斷鹽 此事見于婆娑論正理等論
- 2856 如在 二字尊故之義
- 2857 子避 史記云有子避於外子之座
- 2858 灑掃 奉公
- 2859 生涯
- 2860 上表 辭退之義
- 2861 生害 殺也
- 2862 甚事 他事
- 2863 一飾 三具足等云
- 2864 一口 金鞍木用之
- 2865 一腰 大刀云
- 2866 一番
- 2867 一刎 勿之字忌而不書之其用一刎
- 2868 一懸 懸鯛一
- 2869 糺繆
- 2870

- 2381 天骨 天然 骨格
- 2382 草案 中書
- 2383 飛脚 急使
- 2384 逃職
- 2378 即闕官 大政大臣無其人 即闕其位非官也
- 2379 分衛 乞食
- 2380 囉齋 乞食
- 2381 天骨 天然 骨格
- 2382 草案 中書
- 2383 飛脚 急使
- 2384 逃職
- 2437 滿遍 均平
- 2438 仰天而唾 四十二經曰惡人欲害賢者猶仰天而唾唾不汚天却汚己面而已
- 2433 闕屋 無人
- 2434 炳然 分明
- 2435 黎明 早晨
- 2436 篠目 日本
- 2426 支度 用意
- 2427 思願 恩問
- 2428 青願 音阮藉 故事
- 2429 火急
- 2430 荒猿 又云有增 日本
- 2431 六借 日本
- 2432 究竟 畢竟
- 2423 大犯 罪人
- 2424 糾明 勘當
- 2425 息灾 穩義
- 2420 博學尤才 文書音 好也
- 2421 聲明 好音
- 2422 褒貶
- 2416 自慢 自欺
- 2417 周章 謂也 怖也
- 2418 今作 非古 實義
- 2419 伺候
- 2413 偃息 休息
- 2414 烏亂 胡亂
- 2415 遠慮 論語人無遠慮 必有近憂
- 2411 頓首 致恭 敬也
- 2412 豫參 列參
- 2406 經營 營一 切事
- 2407 一揆 同心
- 2408 着到 衣帳
- 2409 脏物
- 2410 踟躕 恐懼 之至
- 2411 頓首 致恭 敬也
- 2412 豫參 列參
- 2402 諒隱 公私俱 行也
- 2403 諒闇 夷謂夷 王居喪
- 2404 豎議 謂建 議
- 2405 普諸 普諸諸人 作事云
- 2409 脏物
- 2398 晏駕 朝飯
- 2399 崩御 向或作肴 旅中熟食
- 2400 登山 人山
- 2401 登遐 夷謂夷 王死
- 2391 把杯 酒杯 奉行
- 2392 馱向 向或作肴 旅中熟食
- 2393 假粧 女面
- 2394 山彦
- 2388 斷金之契 同心 契也
- 2389 先達 先賢又引 導人者
- 2390 困基 手談
- 2385 連暑 即書 連義
- 2386 謂歌曲也 本俗世話
- 2387 契盟 歃血 也
- 2332 濟濟 多意
- 2333 折籌 中分之義世俗作折中何 是乎但折中字出文選
- 2334 折檻 出漢 書
- 2335 誓文 誓狀
- 2336 遷化 死土 官云
- 2337 逝去 平人 死云
- 2338 施行
- 2339 接待 施茶與 旅人
- 2340 世諦 世帶
- 2341 世智辯
- 2342 寂寥 問意
- 2343 先途 難義
- 2344 碩學 大學 也
- 2346 焙煤拂 十二月 所為也
- 2347 忌忌敷
- 2349 見苦敷
- 2350 珍敷
- 2351 忙敷
- 2352 輕輕敷 已上六 者未詳
- 2353 一輕嫂 俗人 所作
- 2354 綸旨 三指 王言
- 2355 綸言
- 2356 宣旨 三指 王言
- 2357 懸召 召諸縣之輩 被任諸官也
- 2358 御行 院王 書之
- 2359 反閉 夷王出行時陰陽家 所行也又謂禹步
- 2360 僉議 大衆評 議也
- 2361 琢磨 毛詩如切如 磋如琢如磨
- 2362 稽古 學文
- 2363 勘文 歷家 所為
- 2364 懷托 任寄 也
- 2365 付囑 讓與 義
- 2366 魚道
- 2367 細工 把刀 道
- 2368 調菜 調味 者
- 2369 田札 禁田不 令刈
- 2370 日課 日作 之課
- 2371 獨步
- 2372 蠅附驥尾 喻卑賤附 權貴也
- 2373 相伴 相坐 義
- 2374 赧面
- 2375 心肝 肝要 義
- 2376 突鼻 本俗 世話
- 2377 逐電 謂晦 跡
- 2378 即闕官 大政大臣無其人 即闕其位非官也
- 2379 分衛 乞食
- 2380 囉齋 乞食
- 2381 天骨 天然 骨格
- 2382 草案 中書
- 2383 飛脚 急使
- 2384 逃職
- 2437 滿遍 均平
- 2438 仰天而唾 四十二經曰惡人欲害賢者猶仰天而唾唾不汚天却汚己面而已
- 2433 闕屋 無人
- 2434 炳然 分明
- 2435 黎明 早晨
- 2436 篠目 日本
- 2426 支度 用意
- 2427 思願 恩問
- 2428 青願 音阮藉 故事
- 2429 火急
- 2430 荒猿 又云有增 日本
- 2431 六借 日本
- 2432 究竟 畢竟
- 2423 大犯 罪人
- 2424 糾明 勘當
- 2425 息灾 穩義
- 2420 博學尤才 文書音 好也
- 2421 聲明 好音
- 2422 褒貶
- 2416 自慢 自欺
- 2417 周章 謂也 怖也
- 2418 今作 非古 實義
- 2419 伺候
- 2413 偃息 休息
- 2414 烏亂 胡亂
- 2415 遠慮 論語人無遠慮 必有近憂
- 2411 頓首 致恭 敬也
- 2412 豫參 列參
- 2406 經營 營一 切事
- 2407 一揆 同心
- 2408 着到 衣帳
- 2409 脏物
- 2410 踟躕 恐懼 之至
- 2411 頓首 致恭 敬也
- 2412 豫參 列參
- 2402 諒隱 公私俱 行也
- 2403 諒闇 夷謂夷 王居喪
- 2404 豎議 謂建 議
- 2405 普諸 普諸諸人 作事云
- 2409 脏物
- 2398 晏駕 朝飯
- 2399 崩御 向或作肴 旅中熟食
- 2400 登山 人山
- 2401 登遐 夷謂夷 王死
- 2391 把杯 酒杯 奉行
- 2392 馱向 向或作肴 旅中熟食
- 2393 假粧 女面
- 2394 山彦
- 2388 斷金之契 同心 契也
- 2389 先達 先賢又引 導人者
- 2390 困基 手談
- 2385 連暑 即書 連義
- 2386 謂歌曲也 本俗世話
- 2387 契盟 歃血 也

2439 早晚 義不定
2440 相圖 義拘束
2441 合璧 義合家
2442 倘若無人

2438 桓温 故事
2443 不具 義無衣
2444 傍輩 義同位
2445 輻輳 車具

2446 胸臆之說
2447 謳歌之說
2448 閭巷之說 三說也
2449 上手下手

2450 綸言如汗 禮記云綸言如汗出而不返
2451 一片 事無餘

2452 淵底 義窮事
2453 折角 前漢書五鹿岳朱雲折其角也
2454 手傳 義合力

2455 信仰 義皈依
2456 脂轄 義出行
2457 恩簡手教 狀也

2458 割符 通兩所
2459 切符憑子 俗出少錢取多錢也
2460 掃除 一云掃治

2461 箕裘之業 祖父之業也
2462 五月子不養 孟嘗君上五月而至高位其母為辟公而長生由是觀之

2463 夙習 義舊習
2464 涯分 隨分
2465 療治 治病

2466 療養 同上
2467 外人 他人
2468 落魄 隨意而不拘法度

2469 年齡 義老年
2470 他界 義死去
2471 臨終屬纊 以纊屬鼻穴知息否

2472 訃音 告死於外
2473 火葬
2474 水葬
2475 野葬
2476 土葬 已上四葬皆俗送死也

2477 屈請 強招人
2478 拒障 義辭退
2479 面展 義面拜
2480 忠言逆耳

2481 臨深履薄 詩云如臨深淵如履薄冰
2482 獅子身

2483 合十 義僧合掌
2484 十宗 法相宗舍宗成實俱

2485 叢林 義五山十利僧侶繁多之義

宗禪宗淨土宗律宗華嚴宗
加之天台宗真言宗為十宗也

2486 威儀 袈裟
2487 衣 袈裟掛臂
2488 六波羅蜜 檀波羅蜜戶波羅蜜密羅提波羅蜜昆利

2489 祝髮 斷髮也
2490 落髮 落髮也
2491 還俗

2492 下火 禪家葬也火或作炬
2493 擯出 退義
2494 得度 飯依之語救我之義

2495 度僧 成僧
2496 抖擻 頭佗
2497 南無 飯依之語

2498 加護 佛神加護
2499 詫宣 神
2500 茶毗 葬
2501 靈驗 佛事

2502 布薩 梵語此翻說戒
2503 掛塔 參暇
2504 追薦 佛事
2505 祝言 神祇

2506 教養 佛事
2507 掛錫 同宿
2508 通夜 佛神之前致誓

2509 灌頂 夷王出行時用此字真言家用之
2510 說草祭文 法事

2511 僧讚 律教兩家作法
2512 澆拂 拂後祝言
2513 諷誦 遷說經時知識舉揚之義

2514 業障 因果
2515 護魔 梵語此翻燒言燒滅一切惡魔事
2516 拒請 辭退義或作拒障

2517 彫刻 佛造
2518 奠茶 奠茶奠湯葬時佛事
2519 啓請 誓文

2520 急急如律令 急急疾也律令法度也此言一切惡魔皆行邪道故告誡之急皈正道也
2521 入院 入寺

2522 陞座 說法
2523 出院 出擯
2524 師資相承 決第
2525 精進

2526 神水 啓請時用
2527 悉曇 語梵
2528 宗派

2529 重拂 說法
2530 懺法 觀音懺法者

俗云潔洲
稽進